

平成 29 年度

まちづくり報告書

～愛南町総合計画の進行管理～



平成 30 年 3 月

愛南町

目 次

1	まちづくり報告書の基本的な考え方	1
	(1) まちづくり報告書とは.....	1
	(2) 総合計画と行政評価.....	1
	(3) 行政評価による総合計画の進行管理.....	2
2	第2次愛南町総合計画の評価概要（平成28年度の実績値による）	3
	(1) 施策の成果指標動向（24 施策 47 指標）.....	3
	(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 205 指標）.....	3
	(3) 政策別のまちづくり動向（252 指標）.....	4
3	まちづくりの分野別進行状況	6~185

1 まちづくり報告書の基本的な考え方

(1) まちづくり報告書とは

愛南町総合計画は、町の政策を定める最上位の計画であり、町民、事業者及び行政がそれぞれの果たすべき役割と責任を分担して、総合的かつ計画的にまちづくりに取り組んでいくための指針となるものです（愛南町自治基本条例第24条）。

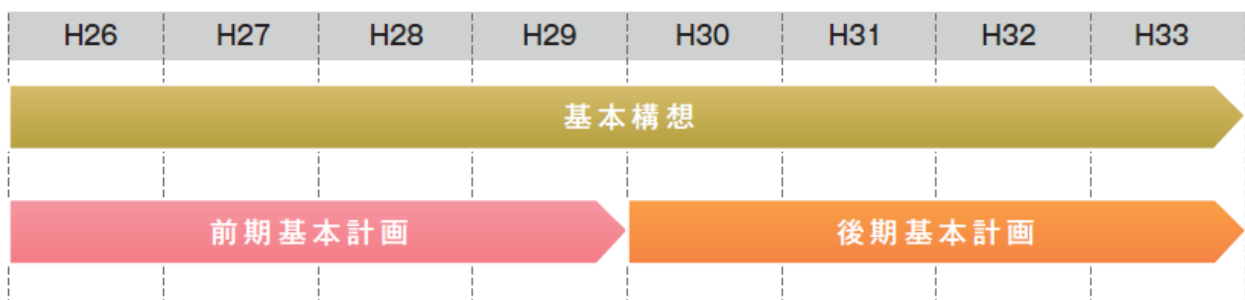
愛南町は、平成16年10月に南宇和旧5か町村が合併し誕生した後、平成18年3月には第1次愛南町総合計画を策定し、平成22年4月には第1次愛南町総合計画後期基本計画を策定するなど、以来総合計画に基づいた町政運営を計画的に推進してきました。

愛南町が誕生し10年近く経過している間に、本町を取り巻く社会情勢は大きく変化し、加えて、国・地方を通じた厳しい財政状況が今後も見込まれる中、時代の変化や多様化する行政ニーズに対応していくため、第1次愛南町総合計画でのまちづくりの成果状況を踏まえて、引き続きまちづくりに取り組んでいくため、平成26年3月に第2次愛南町総合計画を策定しました。

総合計画では、分野別にまちづくりの目標となる、町のめざす姿を設定しています。まちづくりの成果を把握することで、まちづくりがどの分野でどの程度達成されたかを評価しています。

このまちづくり報告書は、町のめざす姿を設定してから現在までのまちづくりの取組状況を町民の皆さんにお知らせするものです。

本書は、平成28年度におけるの施策及び基本事業を評価した報告書です。

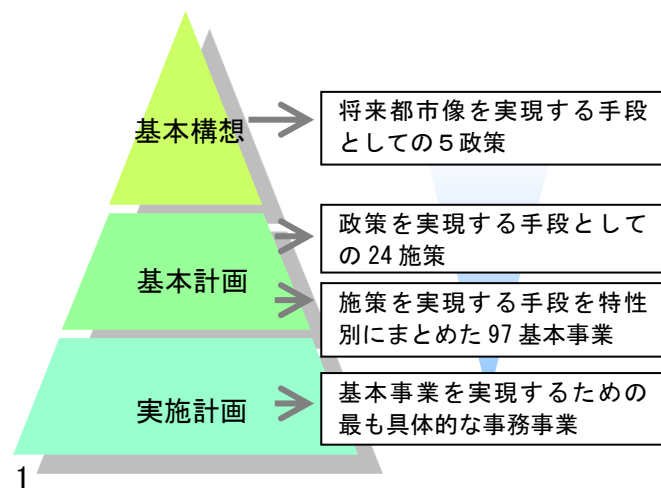


(2) 総合計画と行政評価

第2次愛南町総合計画では、将来像を「ともにあゆみ育て創造するまち～第2章～」と定め、この将来像を実現するために5つの政策を掲げ、政策の下には24の施策、97の基本事業を掲げています。

さらに基本事業を実現するための具体的な手段としての事務事業が位置付けられ、施策体系を構成します。

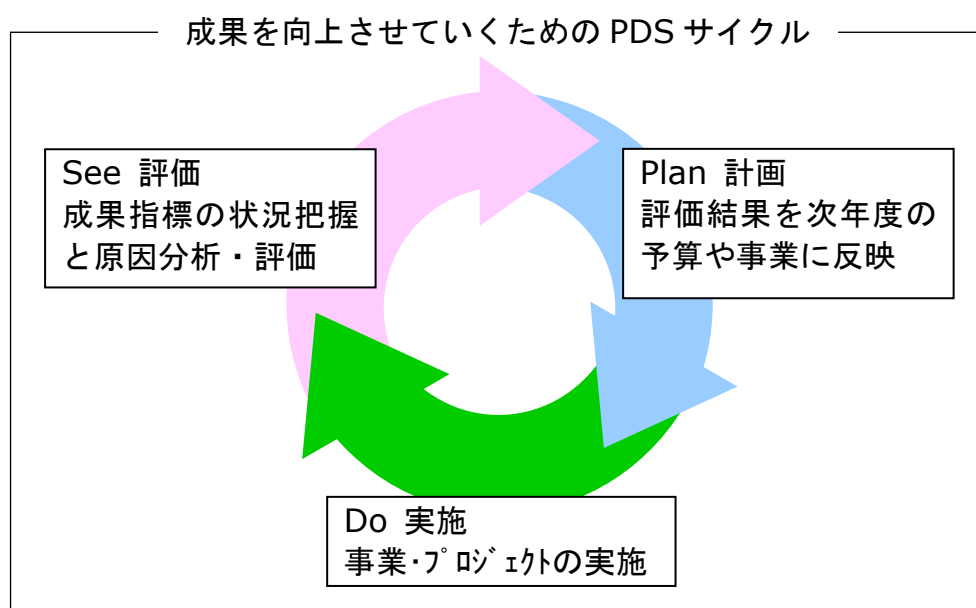
また、愛南町では町民の視点に立った行政経営に取り組み、限られた行政資源で成果重視の行政をめざし、行政評価を導入し、将来像の実現に向けた取組の進捗状況を管理しています。



(3) 行政評価による総合計画の進行管理

愛南町では、施策・基本事業に各分野のまちづくりの「めざす姿」の達成状況をあらわす「ものさし」として成果指標を設定し、その数値の推移により評価を行っています。成果指標を設定し、まちづくりの成果が数値化されることによって、指標の動向や変動要因の分析などを行うことができるようになりました。

評価の結果は、まちづくりを進めていく上での意思決定の判断材料として活用し、計画の策定（Plan）、計画の実施（Do）、計画の評価（See）という PDS のマネジメントサイクルを構築するものです。

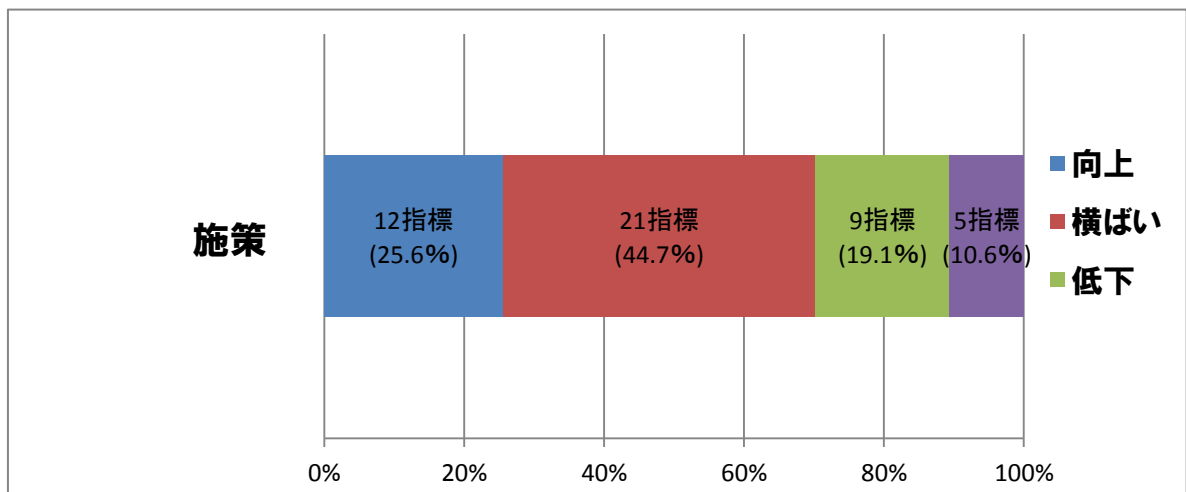


2 第2次愛南町総合計画の評価概要（平成28年度実績値による）

第2次愛南町総合計画で設定した施策・基本事業の252の成果指標の平成27年度値との比較における進捗状況は以下のとおりとなっております。

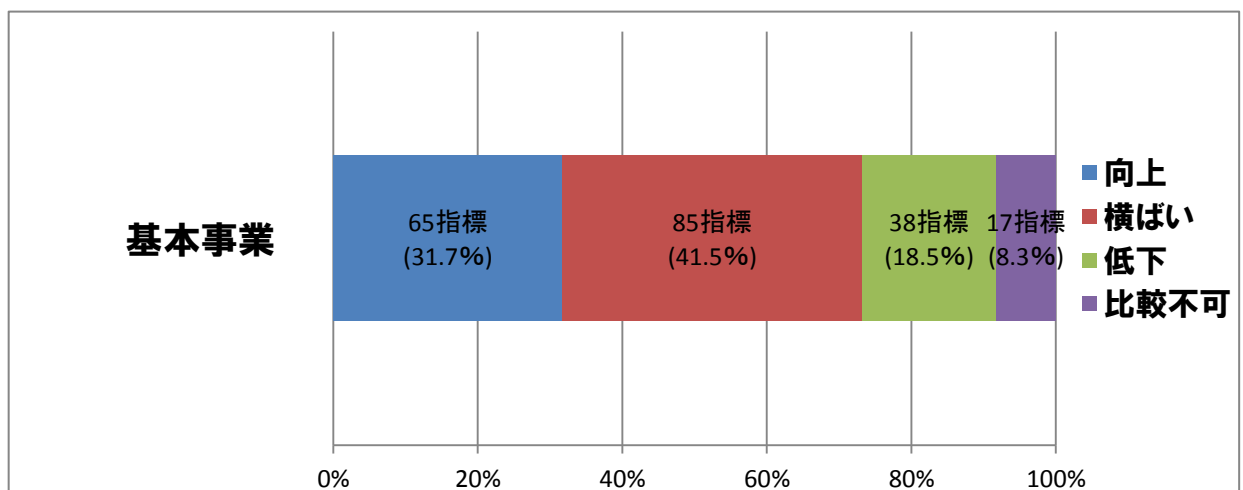
（1）施策の成果指標動向（24施策47指標）

24施策の成果として設定されている47の成果指標について、成果が向上し順調な成果をあげていると評価した指標は25.6%（12指標）、実績が横ばいではある指標は44.7%（21指標）、実績が低下傾向にある指標は19.1%（9指標）、比較できない指標が、10.6%（5指標）となっております。



（2）基本事業の成果指標動向（97基本事業205指標）

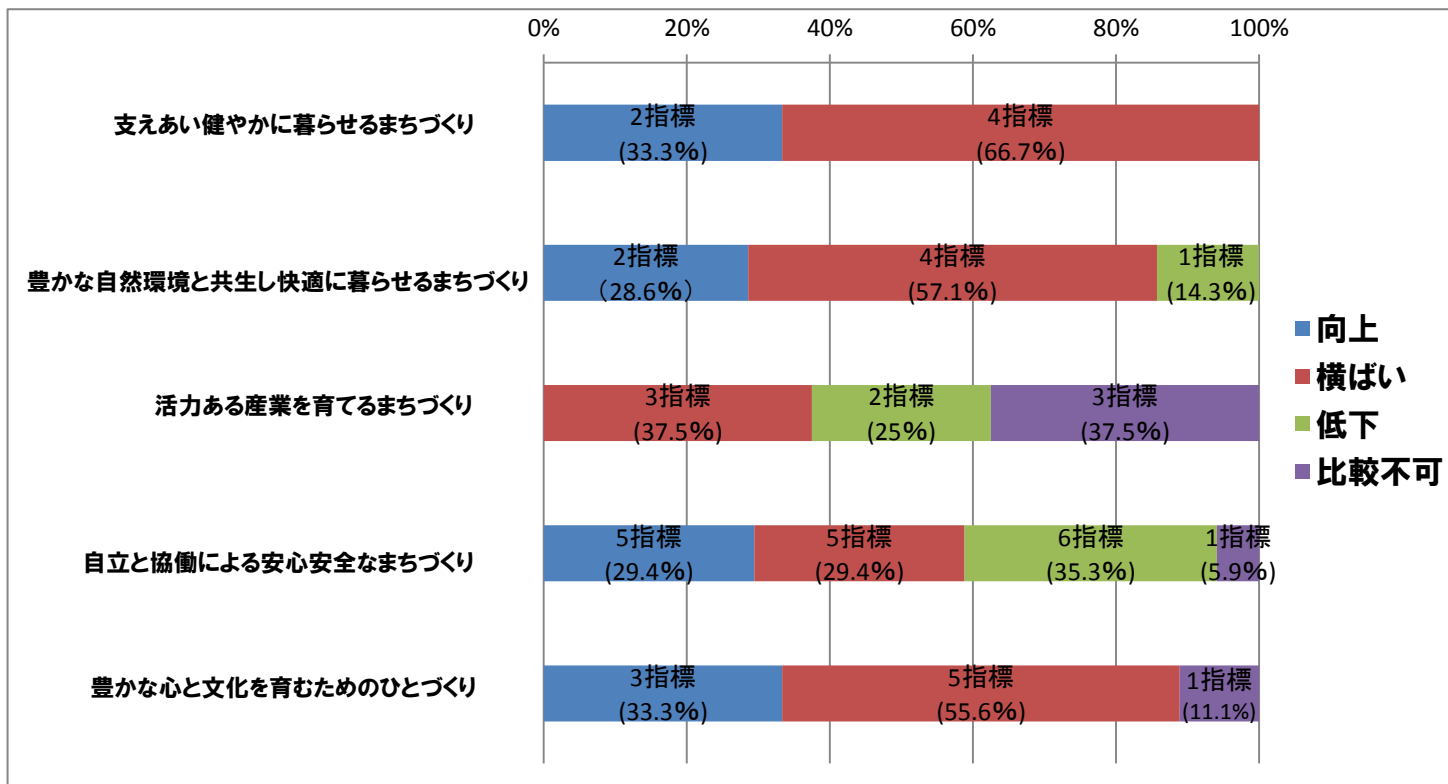
97基本事業の成果として設定されている205の成果指標について、成果が向上し順調な成果をあげていると評価した指標が31.7%（65指標）、実績が横ばいの指標は41.5%（85指標）、実績が低下傾向にある指標は18.5%（38指標）、比較できない指標は8.3%（17指標）となっております。



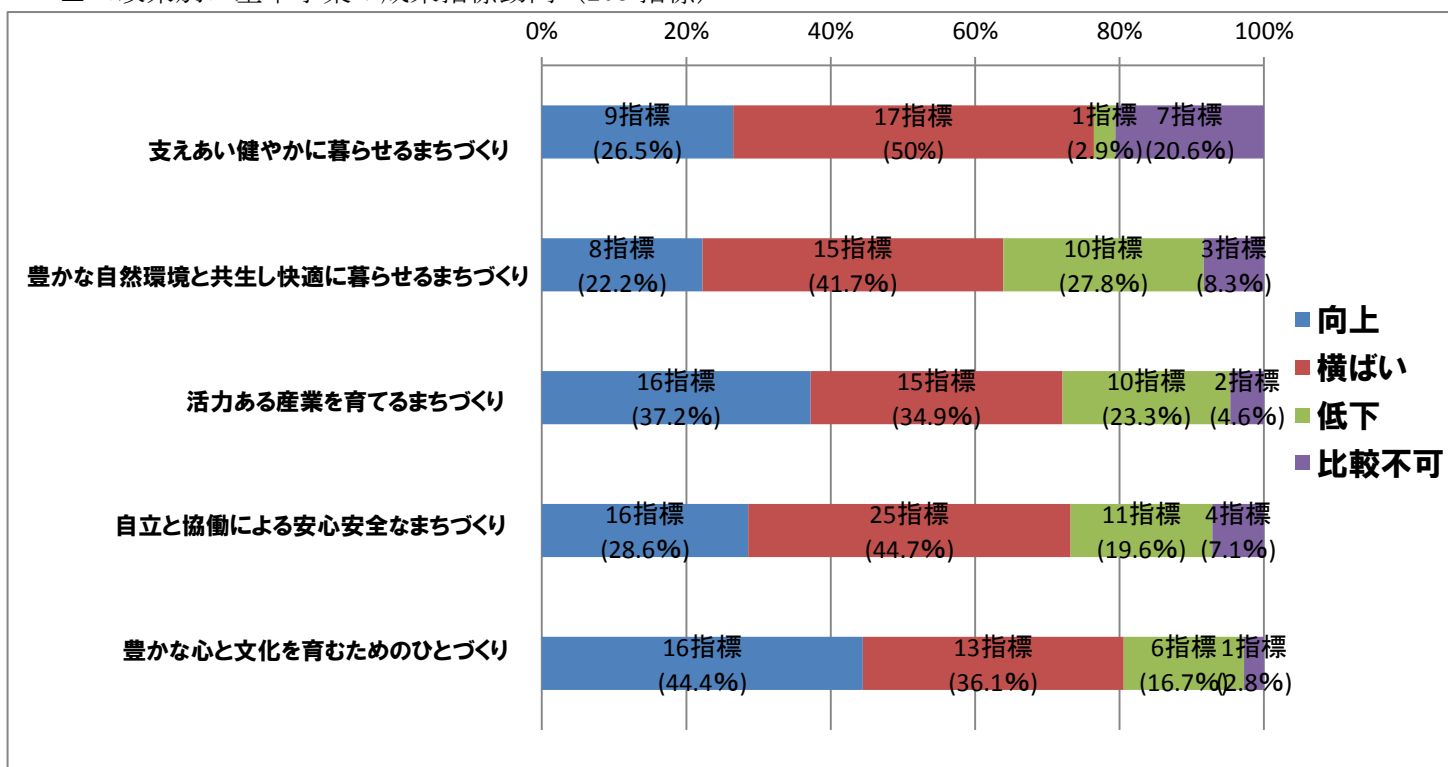
(3) 政策別のまちづくり動向 (252 指標)

施策階層では、「支えあい健やかに暮らせるまちづくり」と「豊かな心と文化を育むためのひとづくり」分野での成果指標が向上している傾向にあります。基本事業階層では、「豊かな心と文化を育むためのひとづくり」分野での成果指標が向上している傾向にあります。

■ <政策別> 施策の成果指標動向 (47 指標)



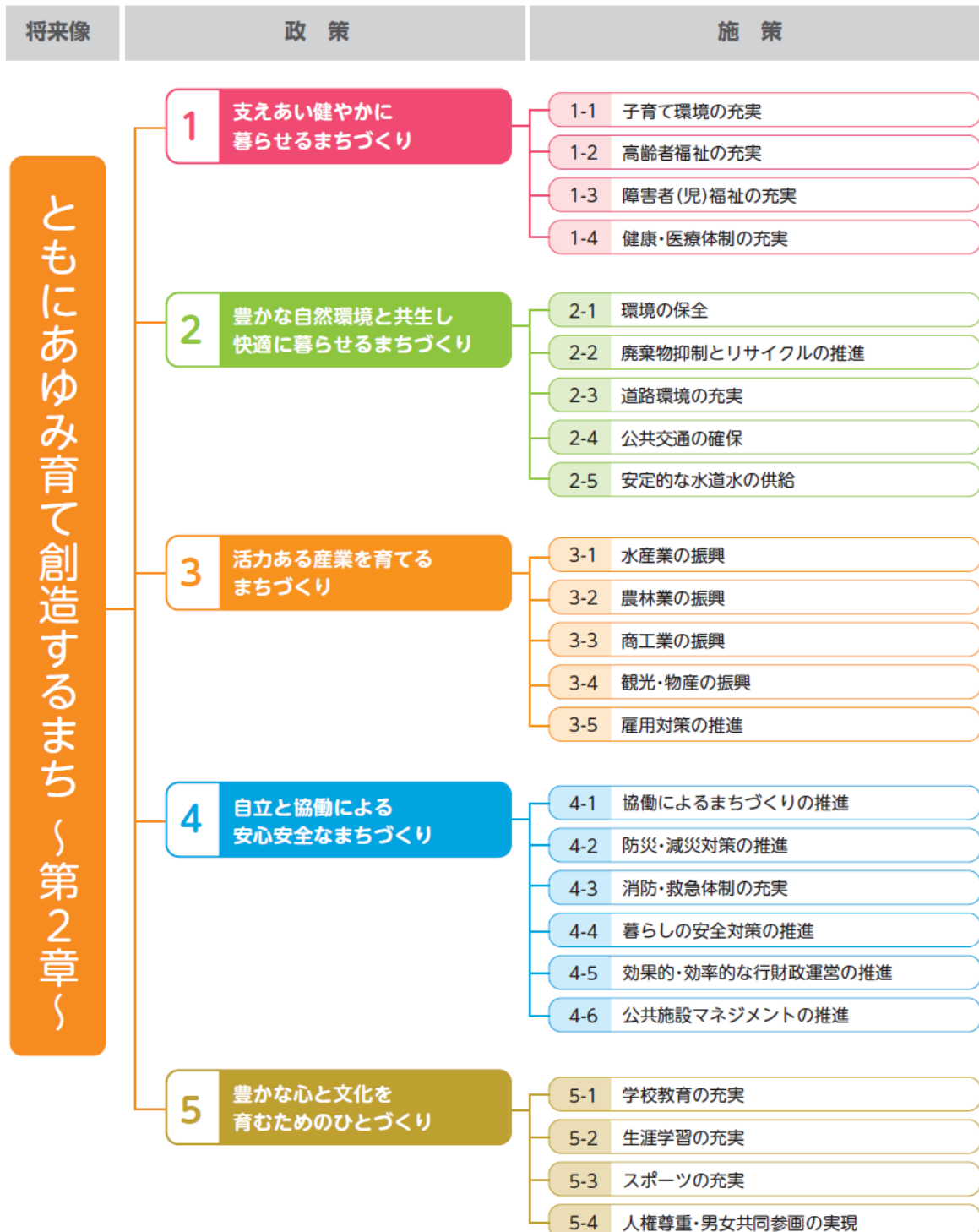
■ <政策別> 基本事業の成果指標動向 (205 指標)



3 まちづくりの分野別進行状況

愛南町の将来像「ともにあゆみ育て創造するまち～第2章～」を実現するために、愛南町の課題を踏まえ、5つの政策を柱に、24の施策、97の基本事業を設定し、まちづくりを推進していきます。

まちづくりの分野別進行状況では、施策及び基本事業ごとに設定した成果指標に基づき、どれぐらいまちづくりの「めざす姿」に近づいているか？指標の動向や変動要因の分析などをお知らせします。



政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-01 子育て環境の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-01-01 保育サービス等の充実

基本事業 01-01-02 地域における子育て支援

基本事業 01-01-03 独身男女に対する出会いの場の提供

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

現況として保育所の入所児童数は平成28年度末551人と、長期的に見て減少傾向にあります。待機児童は発生していません。統廃合した保育所はありませんでした。保育料の第2子無料化を平成28年度から実施し、保護者の経済負担軽減に努めています。課題として、統廃合検討時には、小規模にしつつ施設を維持する、行政効率化を優先して統合する、保護者の送迎負担の考慮するなど総合的な判断が必要です。施設の老朽化も進んでいるため計画的な修繕等が必要です。

現況として、愛南町で開設されている3か所の放課後児童クラブの利用児童のべ人数は、平成28年度で107名となっており、うち2か所では定員を超えた受け入れを行っています。課題として、国の放課後子ども総合プランの方針である「全小学校区への放課後児童健全育成事業への拡充」に向けて、放課後子ども教室事業との連携、指導員の人材確保等をいかに進めるかを検討していく必要があります。

現況として、女性の社会進出や少子高齢化に伴い、若い世代の独身率は年々上昇傾向にあります。課題として、若い世代がよきパートナーと巡り合い、安心して子どもを生み、育てていくためのサポートの一環として、独身男女に出会いの場を提供していく必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.06 (2.94)	--- (---)	3.00 (2.96)	➔
重要度	3.69 (3.58)	--- (---)	3.79 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
子育て中の世帯（15歳未満の子どもの保護者）	安心して子育てができる環境を整えます。

施策の成果状況と評価

指標	子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【保健福祉課】	%	94.2	94.1	95.8	95	
評価	<p>(状況) 前年と比較して、ほぼ横ばいです。 (原因) 高い指標値で数値を維持していることから、保護者の需要に対して、子育て環境にかかるサービス提供は大部分で充実できていると考えます。今後指標値を向上させるには、より個々の少数な意見要望に対応する必要があると思われま</p>						(横ばい) 目標達成度 (高)

施策のコスト（千円）

H27	H28
0	1,025,186

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-01 保育サービス等の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子育て中の世帯（15歳未満の子どもの保護者）	基本事業がめざす姿 保育サービス等の充実により、保護者が安心して子どもが預けられ、働くことができます。
--	---

基本事業の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	保育所を利用している保護者の満足度 【保健福祉課】	%	96.9	97.1	97.6	96	(横ばい)
評価	(状況) 高い保護者の満足度を維持しており、達成できています。 (原因) 本町では待機児童なく児童の受け入れができており、提供している各種の保育サービスの充実により、保育ニーズを満たしていると考えられます。						目標達成度 (達成)
指標②	学童保育を利用している保護者の満足度 【生涯学習課】	%	96.8	98.6	99.1	97	(横ばい)
評価	(状況) 高い保護者の満足度を維持しており、達成できています。 (原因) 施設環境や職員の配置状況、児童への接し方の対応等で保護者の高い満足度を得ており、それが指標値に繋がったものと思われます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	211,796

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-02 地域における子育て支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子育て中の世帯（15歳未満の子どもの保護者）	基本事業がめざす姿 子育ての不安や悩みを取り除きます。
--	---------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	子育てに関する不安や負担を感じている保護者の割合 【保健福祉課】	%	10.1	10.3	6.9	10	☀ (向上)
評価	(状況) 向上しています。 (原因) 経済的な面及び仕事と子育ての両立の面で不安を感じている保護者が一定数いますが、保育料の第2子無料化などの町の施策を通して、不安をある程度解消できたのではないかと考えられます。						目標達成度 (達成)
②	近所の人や友達に子どもを預かってもらえる保護者の割合 【保健福祉課】	%	60	71.6	66.1	80	☁ (横ばい)
評価	(状況) 横ばいの状況です。 (原因) 前年より少し減少していますが、回答数が若干少なく集計規模が小さいため、統計誤差と思われます。祖父母と同居していない、祖父母が現役で働いている等、一定の割合で対象者は発生すると見込まれます。						目標達成度 (中)

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	401,441

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-03 独身男女に対する出会いの場の提供

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 20歳以上の独身者	基本事業がめざす姿 町内における成婚率を高め、本町の人口増及び地域活性化につなげます。
----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	出会いの場を提供してカップリングした組数 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		組	11	28	39	30	
評価	(状況) 婚活イベントを平成27年度は1回、平成28年度は2回 行いました。カップリングした組数は向上し、前期目標値は達 成しています。 (原因) 平成28年度からは事業を委託しました。また、えひめ 結婚支援センター（ボランティアスタッフも含む）の支援も受 け、婚活イベント全体の進行及び参加者同士のコミュニケーシ ョンがスムーズに行え、1回目では6組、2回目では5組のカ ップル成立という成果をあげることができたと考えられます。						(向上) 目標 達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	1,663

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	410,286

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-02-01 日常生活の支援

基本事業 01-02-02 居宅サービスの充実

基本事業 01-02-03 生きがい活動の推進

基本事業 01-02-04 地域包括ケアの充実

基本事業 01-02-05 介護予防サービスの充実

基本事業 01-02-06 介護保険サービスの充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

平成28年4月1日現在の高齢化率は38.9%で、平成37年には49.3%になると推計されています。限界集落が存在する中、地域力が低下する傾向にあり、高齢者が生きがいや役割を持ち続け、地域の支えあいの中で自立して生活することができるような施策が必要となっています。

現在、高齢者がいつまでも自立した生活がおくられるよう、予防事業で運動機能の改善及び口腔機能の向上、栄養改善に努め、生活機能の維持を図ったり、地域において高齢者が主体的に介護予防に資する活動が継続できるように取り組んでいます。

平成28年4月1日現在の認知症高齢者の出現率は、14.8%で、高齢化の進展に伴って増加の傾向にあります。高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、認知症に対する理解を深め、見守りの体制を整えていく必要があります。

元気高齢者の割合が増え、地域の身近な場所に高齢者が集える場所があり、見守りや支えあいの仕組みづくりの必要性を住民や地域の関係機関と共有し、地域の実情に合ったサービスメニューを検討していくことが課題となっています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.97 (2.94)	--- (---)	2.89 (2.96)	➔
重要度	3.75 (3.58)	--- (---)	3.90 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
65歳以上高齢者、家族、地域住民	高齢者が健康で、生きがいを持って住み慣れた地域で生活できます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	自立高齢者の割合 【高齢者支援課】	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	78.5	78.5	79.2	78.5	
評価	1号被保険者の中で介護認定を受けていない方の割合						 (向上)
	(状況) 介護保険第1号被保険者要介護・要支援認定者数 1,866人、介護保険第1号被保険者数 8,974人 割合：79.2% 高齢者人口は増加していますが、要支援・要介護認定者数は微減の状況にあります。 (原因) 元気高齢者が増加していると捉えてよいと考えますが、認定者が微減となっている原因についてはさまざまな要因があるため、特定の要因とすることはできません。						

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	3,877,079

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

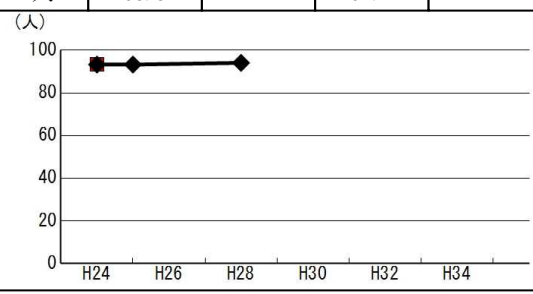
基本事業 01-02-01 日常生活の支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者	基本事業がめざす姿 日常生活支援サービスを受けることで安心して暮らすことができます。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	各種サービス受給者の満足度	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	(状況) 日常生活圏域ニーズ調査によると、3年前と比べほぼ横ばい状態です。サービスを受けている人は、ほぼ満足しています。 (原因) 各種サービスについては①緊急通報システム：満足95.7%、②福祉タクシー助成：満足96.6%、③鍼灸マッサージ等助成：満足98.9%、④在宅寝たきり老人紙おむつ支給：満足85%、⑤食の自立支援：満足94.1%となっており、日常生活支援のサービスを受けている人はほぼ満足している状況があると思われます。	人	93.3	-	94.1	



基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	129,214

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-02 居宅サービスの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
在宅の要介護者とその家族	家族の介護負担の軽減と住み慣れた地域で過ごすことができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	介護サービス利用者のうち居宅サービス利用割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【高齢者支援課】	%	73.1	77.6	79.5	75.0	
評価	(状況) 介護サービス利用者計 (延べ) 22,232人、うち居宅サービス受給者 17,684人 割合: 79.5% (原因) 地域包括ケアの進展により、施設介護から在宅で必要なサービスが受けられるなど、制度への理解や周知の効果が少しずつ表れてきています。						(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	24,917

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-03 生きがい活動の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者	基本事業がめざす姿 自発的な社会活動を通じて、心の豊かさや生きがいを持った生活を送ることができます。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	生きがいをもっている高齢者の割合 【高齢者支援課】	%	60.8	-	65.2	70.0	(横ばい)
評価	(状況) 65歳以上の方で、日々の暮らしの中で生きがいを感じることがあるという方がやや増加しています。 (原因) 趣味・娯楽、仕事や健康・スポーツ活動、地域活動に生きがいを感じていて、地域のつながり、仲間作りができています。一次予防事業などでも介護予防の啓発や高齢者の集うきっかけづくりを行ってきたことによると思われます。						目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	7,659

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-04 地域包括ケアの充実

基本事業のプロフィール

<table border="1"> <tr> <th>基本事業の対象</th> </tr> <tr> <td>高齢者</td> </tr> </table>	基本事業の対象	高齢者	<table border="1"> <tr> <th>基本事業がめざす姿</th> </tr> <tr> <td>必要な時に相談を受けられたり、安心して暮らせるための支援を受けられます。</td> </tr> </table>	基本事業がめざす姿	必要な時に相談を受けられたり、安心して暮らせるための支援を受けられます。
基本事業の対象					
高齢者					
基本事業がめざす姿					
必要な時に相談を受けられたり、安心して暮らせるための支援を受けられます。					

基本事業の成果状況と評価

指標	指標のうごき	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)
①		%	10.1	-	17.5	8.0
評価	<p>(状況) 2年前とほぼ横ばいの状況です。おおよそ8割以上の方は、相談相手がおられるようです。 (原因) 独居世帯や高齢者のみ世帯が増えたことも要因の一つと考えられます。</p>					

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	1,093

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-05 介護予防サービスの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
高齢者	要介護・要支援に陥るおそれのある高齢者が要介護・要支援状態となることを予防します。 高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも自立した生活ができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	介護予防や健康づくりに心がけている高齢者の割合 【高齢者支援課】	%	91.6	-	83.6	93.0	(横ばい)
評価	(状況) 2年前とほぼ横ばいの状況です。項目ごとに比較してみると運動、口腔ケア、栄養などの項目で減少しています。 (原因) 介護予防教室や活動支援事業、二次予防事業などで延べ1,569名に対して、介護予防についての正しい情報を提供したり、生活機能が維持・向上できるよう普及・啓発しています。経年的に継続することの困難さが原因と思われます。						目標達成度 (高)
指標②	要支援認定者の新規該当者の平均年齢 【高齢者支援課】	歳	82.2	79.7	82.0	82.0	(向上)
評価	(状況) 前年に比べて約2歳延びています。新たに要支援認定を受ける年齢が上がり、健康寿命が延びています。 (原因) 介護予防や健康づくりに80%以上の方が取り組み、地域内での見守りや声掛け等によって自立した生活を送る期間が延長したと考えられます。						目標達成度 (達成)
指標③	要介護認定者の新規該当者の平均年齢 【高齢者支援課】	歳	81.3	80.1	84.0	82.0	(向上)
評価	(状況) 前年に比べて4歳延びています。新たに要介護認定を受ける年齢が上がり、健康寿命が延びています。 (原因) 介護予防や健康づくりに80%以上の方が取り組み、地域内での見守りや声掛け等によって自立した生活を送る期間が延長したと考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	9,381

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-06 介護保険サービスの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者 介護保険事業者	基本事業がめざす姿 要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して在宅での生活ができます。
---------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき											
①	在宅サービス利用者の割合 【高齢者支援課】	%	45.5	57.4	57.9	55.0	(向上) 目標達成度 (達成)											
評価	(状況) 居宅介護・介護予防サービス受給者数 1,081人、要介護・要支援認定者数 1,866人 割合57.9% (原因) 地域包括ケアシステムの進展により、利用者、サービス関係者へ制度の周知が行われており、在宅介護サービスを選択する利用者の割合が少しずつ増えています。	<table border="1"> <caption>在宅サービス利用者の割合 (実績値)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>45.5</td></tr> <tr><td>H25</td><td>57.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>57.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>57.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>57.9</td></tr> </tbody> </table>						年度	割合 (%)	H24	45.5	H25	57.4	H26	57.4	H27	57.4	H28
年度	割合 (%)																	
H24	45.5																	
H25	57.4																	
H26	57.4																	
H27	57.4																	
H28	57.9																	
②	地域密着型サービス利用者の割合 【高齢者支援課】	%	8.5	8.5	22.2	9.0	比較不可 目標達成度 ---											
評価	(状況) 地域密着型介護・介護予防受給者数 414人、要介護・要支援認定者数 1,866人 割合 22.2% (原因) 認定者数に対する地域密着型サービスの対象者数が制度改正に伴い対象施設が増加したため、前年度との比較が艱難であると考えています。	<table border="1"> <caption>地域密着型サービス利用者の割合 (実績値)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>H25</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>22.2</td></tr> </tbody> </table>						年度	割合 (%)	H24	8.5	H25	8.5	H26	8.5	H27	8.5	H28
年度	割合 (%)																	
H24	8.5																	
H25	8.5																	
H26	8.5																	
H27	8.5																	
H28	22.2																	
③	施設入所者のうち要介護度4・5認定者の割合 【高齢者支援課】	%	72.8	71.2	69.2	75.0	(横ばい) 目標達成度 (達成)											
評価	(状況) 施設入所者4,548人のうち要介護度4・5の人数は3,146人 割合：69.2% (原因) 認定者全体で見ると、重度者の割合が減少してきています。地域包括ケアの進展によって、制度やサービスが周知され、重度でも在宅で介護する方向に変わってきています。	<table border="1"> <caption>施設入所者のうち要介護度4・5認定者の割合 (実績値)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>72.8</td></tr> <tr><td>H25</td><td>72.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>71.2</td></tr> <tr><td>H27</td><td>71.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>69.2</td></tr> </tbody> </table>						年度	割合 (%)	H24	72.8	H25	72.8	H26	71.2	H27	71.2	H28
年度	割合 (%)																	
H24	72.8																	
H25	72.8																	
H26	71.2																	
H27	71.2																	
H28	69.2																	

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	3,422,201

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	282,614

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-03-01 早期療育支援体制の充実

基本事業 01-03-02 地域生活支援の推進

基本事業 01-03-03 社会参加の促進

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

障害者総合支援法は、障害者手帳をもっていない発達障がいや難病のある者等も含め、障がいや社会的障壁によって日常生活や社会生活が困難になっている者を障がい福祉サービスの対象にしています。平成28年4月に障害者差別解消法が施行になりましたが、町民への普及啓発はすすんでいるとは言えず、障がいの理解も十分あるとは言えません。

相談支援については、相談支援事業所委託整備をすすめ成果がみえています。しかし、改正発達障害支援法が平成28年度に施行となる等、より質の高い専門性のある相談体制が求められています。

施設からの地域移行はすすんでいるとは言えません。地域生活への移行をすすめるには、住居、就労、生活などの支援を関係機関が連携し総合的に行う必要があり、その拠点となる機能の整備が急がれます。総合相談窓口など地域生活を支援する活動拠点の整備に引き続き取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.97 (2.94)	--- (---)	2.93 (2.96)	➔
重要度	3.58 (3.58)	--- (---)	3.71 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>障害者(児)</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>障害者(児)が在宅で安心して生活し、社会参加が出来るようになります。</p>
----------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	在宅で生活している障害者(児)の割合	単位	基準値	実績値(H27)	実績値(H28)	目標値(H29)	指標のうごき								
①	【保健福祉課】	%	88.6	89.7	90.1	90	(横ばい)								
評価	<p>(状況) 障がい者手帳所持者1,429人のうち、障がい支援施設入所者は85人、介護老人福祉施設入所者は57人です。年次推移は微増傾向にありますが、在宅で生活している障がい者が増えていると判断できず、施設から地域へ移行するための課題は解決されていません。</p> <p>(原因) 安心して地域で暮らすことのできる居宅サービスの充実や居住の整備などを今後もすすめます。</p>	<table border="1"> <caption>実績値データ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>88.6</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>89.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>90.1</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H24	88.6	H26	89.7	H28	90.1	<p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>
年度	実績値 (%)														
H24	88.6														
H26	89.7														
H28	90.1														

施策のコスト(千円)

H27	H28
0	723,325

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-01 早期療育支援体制の充実

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>障害者（児）とその家族</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>障害に関する相談を受けられることにより、必要な情報を得たり不安を解消できます。</p>
-----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	健診・相談によって早期発見された要支援者数 【保健福祉課】	人	27	40	46	25	(横ばい)
評価	(状況) 要支援者は46人、支援率9.7%でした。 (原因) 早期発見のための支援体制は整ってきました。早期療育、継続療育については、保健師や相談支援専門員、巡回支援専門員による保育所等訪問や、家族相談支援を充実させていきます。						目標達成度 (達成)
②	療育を受けている児童数 【保健福祉課】	人	56	62	61	55	(横ばい)
評価	(状況) 放課後等デイサービス43人、児童発達支援18人、合計61人が利用しています。 (原因) 相談や健診等により支援が必要な児童を把握し、経過観察事業等を経て児童通所支援事業の利用につなぐ体制はほぼ出来上がっています。事業定員数に対して利用希望者が増え、一人当たりの利用回数や、中・高学生の利用を調整しなければならない状況があります。送迎など家庭の事情により、利用を終了する者がいるため、事業の成果は横ばいとなっています。事業の拡充が必要になってきています。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	48,171

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-02 地域生活支援の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
障害者(児)	障害に応じて適正なサービスを受けることにより、住み慣れた地域で生活を送ることができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	障害福祉サービス事業の利用者数 【保健福祉課】	人	368	405	438	390	(向上)
評価	(状況) 障がい福祉サービスの利用者数が昨年度と比較して33人増加しており、事業の成果としては順調です。 (原因) 計画相談の普及により、利用者のおかれた環境やニーズに応じたサービスを計画的に提供することができるようになりました。これにより、障がい者の地域移行や就労支援が図られ、居宅介護や就労継続支援事業等の利用者数が増加しました。また、グループホームの新設に伴い、共同生活援助の利用者が増加したことも大きな要因となっています。						目標達成度 (達成)
②	地域生活支援事業の利用者数 【保健福祉課】	人	370	353	394	380	(向上)
評価	(状況) 前年度と事業別で比較すると日常生活用具給付等が12人減少し、相談利用が49人増加しています。 (原因) 日常生活用具給付等は利用者の死亡により減少となりました。相談支援は、障がい福祉サービス利用に係る計画相談の拡充により、相談窓口が周知でき、相談支援が受けられるようになりました。今後も気軽に相談が受けられる体制を整備し、障がい者の生活ニーズに沿ったサービスが提供できるよう支援をすすめます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

H27	H28
0	673,674

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-03 社会参加の促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 障害者(児) 事業者 町民	基本事業がめざす姿 障害者(児)が社会参加しやすい環境が整え、地域社会の一員であるという意識が醸成します。
------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	障害者(児)の就労者数 【保健福祉課】	人	-	-	-	160	比較不可
評価	(状況) 指標値が取得できない年次です。福祉就労の状況は、24年度からA型19件から28年度には30件、B型42件から74件と利用が急増しています。 (原因) 精神科の社会的入院から地域移行がすすみ、グループホームから福祉就労を利用する形が増加しました。また、高等部を卒業する者は、地域移行支援事業を利用して就労する形ができつつあります。福祉就労事業所の拡充、整備が必要です。地元企業や就職支援センター、ハローワークと連携した就職支援をすすめます。	(人)					目標達成度 ---

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	障害者(児)の社会参加率 【保健福祉課】	%	-	-	-	60	比較不可
評価	(状況) 指標値が取得できない年次のため、評価コメントを記載いたしません。 (原因)	(%)					目標達成度 ---

基本事業のコスト(千円)

H27	H28
0	1,090

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	390

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-04-01 心とからだの健康づくり

基本事業 01-04-02 医療保険制度の健全運営

基本事業 01-04-03 福祉医療費助成制度の充実

基本事業 01-04-04 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

高齢化の進行（H28：40.2%）やH27年6月診療分からの子ども医療費助成の拡大により、医療給付費が増加傾向にあります。安易な受診を避け、かかりつけ医を持つなど適正受診への働きかけが必要です。
医療体制では、地域の限られた医療資源を生かした在宅医療体制や地域包括ケアシステムの体制づくりが急務です。
また、特定健診においてメタボ出現率が高いことから、働き盛り世代の健康意識を高めるとともに、不適切な生活行動により疾病予備群となっている方々への発症予防や健康づくりと循環器疾患や糖尿病などの生活習慣病の重症化予防の両輪で取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.32 (2.94)	--- (---)	2.31 (2.96)	➔
重要度	4.17 (3.58)	--- (---)	4.25 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	健康な暮らしができる町民が増えます。 町民が安心して医療を受けることができます。

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	自分で健康と感じている町民の割合 【保健福祉課】	%	72.3	-	75.7	80	(横ばい)
評価	(状況) 自分で健康と感じている人の割合は0.7ポイント減少していますが、ほぼ横ばいです。 (原因) 前回と比較して20歳代、40歳代、60歳代で増加していますが、30歳代、70歳代で減少しています。						目標達成度 (中)
②	65歳未満で死亡する町民の割合 【保健福祉課】	%	11.5	9.51	8.77	11	(向上)
評価	(状況) 平成28年度の死亡者総数は399人で前年に比べ10人増加しています。65歳未満の死亡者数は35人で前年に比較し2人の減で0.74ポイントの減となっています。目標を達成しています。 (原因) 人口の高齢化に伴い、総死亡者数は年度により増減はあるものの増加傾向にあります。一方、65歳未満人口は減少傾向にあります。人口構成割合等がデータに影響を及ぼしていることも一因と考えられます。						目標達成度 (達成)
③	町内の医療体制に対する満足度 【保健福祉課】	%	27.9	-	28.6	40	(横ばい)
評価	(状況) 前回と同様の28.6%で横ばいです。 (原因) 県立南宇和病院の医師不足が続いていることが要因と考えられます。						目標達成度 (低)

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	5,612,758

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-01 心とからだの健康づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	自分に合った健康づくりの方法で健康管理ができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	ストレスを解消する方法を持っている町民の割合 【保健福祉課】	%	65.2	-	61.3	70	(横ばい)
評価	(状況) 前回と比較して0.6ポイント減少していますが、ほぼ横ばいです。 (原因) 前回と比較して、男性はストレスを解消する方法を持っている人の割合は増加していますが、女性は若干減少しています。年代別では30歳代、70歳代で減少しています。						目標達成度 (低)

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
③	健康づくりの平均実践項目数 (全7項目) 【保健福祉課】	項目	2.6	-	3.13	-	(横ばい)
評価	(状況) 実践項目数は3.13項目とやや減っていますが、ほぼ横ばいです。個々の項目の実践割合は増えています。「朝食を毎日取る」が68.2%で最も多く、「タバコを吸わない」60.3%「適正な睡眠時間」が50.7%となっています。 (原因) 前回と比較して、年代ごとの実践項目数にあまり変化はありません。30歳代、40歳代において「何もしていない」と回答した人が増加していることも要因と考えられます。						目標達成度 ---

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	125,413

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-02 医療保険制度の健全運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 国民健康保険被保険者 後期高齢者医療被保険者	基本事業がめざす姿 医療保険制度を健全に運営します。
--------------------------------------	-------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	国民健康保険の一人当たりの年間保険給付費 【町民課】	円	264,179	289,558	303,640	291,000	目標のうごき
評価	(状況) 毎年被保険者は減少しているにもかかわらず、一人当たり保険給付費は増加しています。 (原因) 生活習慣病の発症や重症化、入院を要する治療、長期入院、高額薬剤、また被保険者の65歳以上の割合が4割を超え高齢化の影響が考えられます。						(低下) 目標達成度 (中)
指標②	国民健康保険税の徴収率 【町民課】	%	94.75	96.07	96.57	95	目標のうごき
評価	(状況) 徴収の取納率は0.5ポイント向上しました。 (原因) 納税相談の実施や滞納処分等を継続して実施したことが、取納率向上の要因と考えられます。						(向上) 目標達成度 (達成)
指標③	後期高齢者医療の一人当たりの年間保険給付費 【町民課】	円	695,562	712,480	710,954	731,000	目標のうごき
評価	(状況) 前年と比べ、ほぼ横ばい傾向にあります。 (原因) 医療費のお知らせ及び後発医薬品利用差額通知の送付や重複・頻回受診者訪問指導事業の実施などにより、医療費の伸びを抑制できたためと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (高)
指標④	後期高齢者医療保険料の徴収率 【町民課】	%	99.56	99.74	99.83	99.5	目標のうごき
評価	(状況) 徴料の取納率は、0.09ポイント向上しました。 (原因) 納付相談の実施や滞納処分等を継続して実施したことが、取納率向上の要因と考えられます。						(向上) 目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

	H27	H28
	0	4,986,212

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-03 福祉医療費助成制度の充実

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>子ども 障害者 ひとり親家庭</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>社会的・経済的に弱い立場にある方の医療費に係る経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう支援します。</p>
--	---

基本事業の成果状況と評価

指標	乳幼児医療費年間助成額	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【町民課】	円	33,347,949	30,830,126	32,016,390	29,506,000	比較不可 目標達成度 ■■ (中)
評価	<p>(状況) 前年度と比べて、1,186,264円の増となっています。 (原因) 一人あたりの医療費助成額は、27年度39,534円、28年度41,205円と1,671円の増となっています。受給者数は、昨年度平均とほぼ同じですが、平成28年12月診療の助成額が前年度の約1.5倍となっていることから、感染症の流行が原因の一つであると考えられます。</p>						
②	【町民課】	円	751,710	21,765,232	32,241,977	1,125,000	比較不可 目標達成度 ■■ (中)
評価	<p>(状況) 前年度と比べて、10,476,745円の増となっています。 (原因) 平成27年6月診療分から、小中学生の通院助成部分が拡充されたことによる増加です。助成があるからといって安易な受診が増えないよう努める必要があります。</p>						
③	【町民課】	円	75,030,556	69,816,056	65,867,174	72,302,000	比較不可 目標達成度 ■■ (中)
評価	<p>(状況) 前年度と比べて、3,948,882円の減となっています。 (原因) 一人あたり助成額は、27年度106,090円、28年度102,067円で、4,023円の減となっています。年度平均受給者数においても、27年度658人、28年度645人(▲13人)と前年度を下回っているため、年間助成額の減となりました。</p>						
④	【町民課】	円	19,920,412	19,194,066	19,684,173	18,384,000	比較不可 目標達成度 ■■ (中)
評価	<p>(状況) 前年度と比べて、490,107円の増となっています。 (原因) 母子家庭に加えて平成27年7月診療分から、父子家庭にも対象を拡充したための増ではありますが、平成29年1月診療の助成額が前年度の2倍以上となっているため、感染症の流行が原因の一つであると考えられます。</p>						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	152,103

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-04 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 医療機関	基本事業がめざす姿 一次・二次救急医療体制の確保と充実に努めます。 町内医療機関の連携を図り、地域医療の充実を図ります。
-----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	一次救急医療に従事する常勤医師数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【保健福祉課】	人	12	13	13	13	(横ばい)
評価	(状況) 町立病院と開業医の医師数は、前年度と増減はありません。 (原因)						目標達成度 (中)
②	【保健福祉課】	人	8	9	8	13	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と比べると1人減の8人ですが、横ばい傾向です。 (原因) 県立南宇和病院の医師配置が、短期応援医師での対応となっていることで常勤医師数が減っています。						目標達成度 (低)
③	【保健福祉課】	人	6	6	6	6	(横ばい)
評価	(状況) 南宇和郡医師会からの応援医師数は、前年度と増減なく横ばいです。 (原因)						目標達成度 (低)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	9,400

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	339,630

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-01 環境保全

施策を実現する手段

基本事業 02-01-01 生活・自然環境の保全

基本事業 02-01-02 地球環境の保全

基本事業 02-01-03 環境意識の醸成

基本事業 02-01-04 景観の保全

基本事業 02-01-05 生活排水の適正処理

基本事業 02-01-06 河川・排水路の機能向上

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

ここ数年、環境意識の高まりを背景に、太陽光発電システムや省エネ家電を購入するなど、環境を意識する町民が増えてきています。また、町内で再生可能エネルギー発電所等が計画されるなど環境施策を取り巻く状況は、大きく変化してきています。

平成18年度に制定した愛南町環境基本条例や「愛南町環境基本計画」などに沿って、生活・自然環境や景観の保全などに努めるとともに、町民の環境意識の醸成を図り、みんなが美しいと思えるまちづくりに努めます。

太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入を推進することにより、地球温暖化の防止を図り、地球環境にやさしい持続可能な社会づくりに努めます。

快適な生活環境の向上や美しい河川環境の保全のため、集落排水や浄化槽の生活排水処理施設の整備を進めています。持続的な事業の運営に向け、汚水処理人口普及率の向上やPFI手法による浄化槽整備を推進していきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.03 (2.94)	--- (---)	3.10 (2.96)	➔
重要度	3.45 (3.58)	--- (---)	3.54 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境保全

施策のプロフィール

施策の対象 町民 事業者 行政	施策がめざす姿 恵み豊かな自然環境を維持し、安全で快適な生活環境を確保し、次世代に引き継ぎます。
--------------------------	---

施策の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	豊かな自然環境が維持されていると感じる町民割合 【環境衛生課】	%	90.4	-	90.9	91	(向上)
評価	(状況) 2年前に比べて4.5ポイント増加し、町民の9割以上が豊かな自然環境が維持されていると感じています。 (原因) アンケートの結果、豊かな自然が維持されていると感じている住民の割合は59歳以下では91.4%であったものの60歳以上になると84.5%と大きく減少します。長い期間で見ると自然環境が維持されていないと感じていると考えられます。						目標達成度 ■■■ (高)
②	環境にやさしい生活の平均実践率項目数 (全13項目) 【環境衛生課】	項目	6.5	-	4.40	7.5	(低下)
評価	(状況) 2年前に比べて0.92ポイント減少し、環境にやさしい生活が実践できなくなってきました。 (原因) アンケートの結果、項目数は男性4.11に対し、女性は4.94と大きく女性が上回っています。20~29歳では3.4、70歳以上だと5.0と年齢が上がるほど増加する傾向にあります。かんきょうかわら版等による啓発活動は行っているものの、特に若い方、男性の方にはかんきょうかわら版による効果は低いと考えられます。						目標達成度 ■■■ (低)

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	655,406

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境保全

基本事業 02-01-01 生活・自然環境の保全

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者、 愛南町の自然	基本事業がめざす姿 生活・自然環境が適正に管理され、安全で快適に暮らせます。
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	自然や住居の周囲が適正な管理がされてきていると感じている町民の割合 【環境衛生課】	%	61.5	68	65.1	65	(低下)
評価	(状況) 2年前に比べて2.9ポイント減少したものの、目標である65%の住民は自然や住居の周囲が適正に管理されていると感じています。 (原因) アンケートの結果、適正に管理されていると感じている住民の割合は59歳以下では69.6%であったものの60歳以上になると60.7%と大きく減少します。ポイ捨て等の対策はできていますが、満足することなく啓発活動をしていく必要があります。						目標達成度 (達成)
②	公共水域の水質の基準達成率 【環境衛生課】	%	97.6	97.6	96.9	95	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と比較すると、0.7ポイント減少していますが、成果指標値は高く推移しており、順調であると考えます。 (原因) 水質については、気温や水量の状況によって数値が大きく変化するため評価は難しいと考えます。合併処理浄化槽の普及促進に力を入れ、水質保全に努めることが重要であると考えます。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	2,928

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境保全

基本事業 02-01-02 地球環境の保全

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業者、行政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>環境にやさしい行動の推進を通して、地球に優しい持続可能な社会の形成ができます。</p>
---------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	愛南町の消費電力量	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【環境衛生課】	万kw	10,700	10,400	10,160	10,100	(横ばい)
評価	<p>(状況) 前年と比べると、ほぼ横ばいとなっていますが、全体的に見ると減少傾向にあります。ただし、家庭用太陽光発電等の自家発電分は数値に反映されていません。</p> <p>(原因) 世帯数の減少、省エネ機器の導入等が原因と考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (高)</p>
指標	新エネルギー機器の導入件数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【環境衛生課】	件	249	361	376	349	(向上)
評価	<p>(状況) 前年に比べて15件増加しており、目標を達成しています。</p> <p>(原因) 平成27年度より対象機器を増やして、新エネルギー機器の購入に補助していることが向上に結びついたと考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>👑 (達成)</p>

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境保全

基本事業 02-01-03 環境意識の醸成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 事業者	基本事業がめざす姿 環境保全に対する意識の高揚を図り、環境にやさしい生活ができる町民が増加します。
----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	新エネルギー・省エネ機器を利用している町民の割合 【環境衛生課】	%	70.4	-	75.0	90	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
評価	(状況) 前回に比べて0.2ポイント減少しているものの、4人中3人は新エネ、省エネ機器を導入しています。 (原因) アンケートの結果では年齢や居住地区による大きな違いは見られません。目標達成のためにはエネルギー問題に対する啓発活動が必要であると考えられます。						
指標②	講演会、学習会等への参加者数 【環境衛生課】	人	768	232	198	700	(低下) 目標達成度 ■■■ (低)
評価	(状況) 前年度に比べ参加者数が34名の減少となっています。町民を対象としたエコスクール等を前年度から開催していないため基準値との比較では大幅に下回っている状況です。 (原因) 小中学生対象の環境学習会を開催していますが、少子化が進む中で、年々児童生徒数が減少傾向にあることが要因であると考えます。						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	108

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境保全

基本事業 02-01-04 景観の保全

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、事業者、行政	歴史と文化を大切にしたい愛南町の美しい景観を守り、環境美化活動などにより、快適な環境の保全を推進します。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	愛南町のまちが美しいと思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【環境衛生課】	%	89.6	-	87.2	90
<p>(状況) 2年前に比べて4.7ポイント増加していますが、目標は達成できていません。統計誤差を踏まえるとほぼ横ばいと言えます。</p> <p>(原因) アンケートの結果、年齢や性別による大きな違いや傾向は見られません。</p>							

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境保全

基本事業 02-01-05 生活排水の適正処理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 行政 公共用水域	基本事業がめざす姿 公共用水域の水質を保全し、衛生的な水環境を維持します。
------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	汚水処理人口普及率 【環境衛生課】	%	38.2	41.6	42.9	52.6	(向上)
評価	(状況) 前年度と比較すると1.3ポイント増加し、指標値は向上していますが、汚水処理人口普及率は50%未満であることから、成果として順調とは言えません。 (原因) 集落排水施設への接続件数は、ほぼ横ばいであるため、浄化槽設置基数の増加が指標値向上の要因と考えます。しかし、近年の浄化槽設置基数の伸び悩みについては、汲取り及び単独処理から合併処理への転換の必要性が住民へ浸透していないものだと考えます。						目標達成度 ■■■ (中)
②	農業・漁業集落排水処理施設への接続率 【環境衛生課】	%	78.4	80.3	80.6	82.3	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と比較して、0.3ポイントの向上と伸び率はわずかで大きな成果として表れていませんが、前期目標値には順調に近づいています。 (原因) 接続時における高額な工事費用等の負担が伸び悩みの主な要因と考えられます。						目標達成度 ■■■ (高)
③	合併浄化槽の新規設置基数 【環境衛生課】	基	610	877	956	1,000	(向上)
評価	(状況) 前年度と比較すると指標値は79基増加し、達成度については95.6%であることから、ある程度の成果が出ていると考えます。 (原因) H28年度の設置基数79基が指標値向上の要因だと考えます。また近年では、設置基数が年間70基から80基程度で推移していることから、前期目標値は達成できる見込みです。						目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	321,960

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境保全

基本事業 02-01-06 河川・排水路の機能向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民及び利用者 未整備普通河川 排水路	基本事業がめざす姿 未整備普通河川及び排水路を適切に管理し、機能が向上します。
--------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	河川・水路環境への満足度	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①		%	64.4	68.2	66.0	70	
評価	(状況) 前回調査及び基準値比較とも横ばいです。 (原因) アンケートの結果を踏まえて、今後も県及び関係課と連携しながら河川・水路環境の整備をすることで成果の維持または向上すると考えています。						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)

指標	水路の修繕件数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②		件	45	42	35	45	
評価	(状況) 地区要望及び災害等で早期に修繕が必要な箇所について計画的に工事を実施しています。 (原因) 地区要望等の件数により修繕個所の増減がありますので比較はできませんが、今後も計画的に工事を実施していく必要があります。						比較不可 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	23,572

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境保全

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	306,838

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

施策を実現する手段

基本事業 02-02-01 ごみ排出抑制の推進

基本事業 02-02-02 リサイクルの推進

基本事業 02-02-03 廃棄物の適正処理

基本事業 02-02-04 不法投棄の防止

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町のごみ処理等については、「愛南町一般廃棄物処理基本計画」に基づいて、ごみの減量化やリサイクルの推進に取り組んでいますが、不法投棄やその原因に結びつくポイ捨てごみなどは後を絶たず、町内全域で問題となっています。

不法投棄の防止については、監視カメラの設置や巡視員によるパトロールなどで監視体制の強化を図り、未然に防止できるよう努めます。

町民のごみ分別に対する意識が高く、ルールに沿った正しい分別が行われており、リサイクル率は伸びています。今後も、リサイクルの推進などにより、家庭系ごみや事業系ごみの更なる減量に取り組んでいきます。

平成29年度から宇和島地区広域事務組合が建設する新しいごみ処理施設で共同処理が始まる予定です。これに伴い、収集運搬の体制や分別方法など、ごみ処理を取り巻く環境も大きく変化していきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.03 (2.94)	--- (---)	3.03 (2.96)	➔
重要度	3.42 (3.58)	--- (---)	3.52 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。



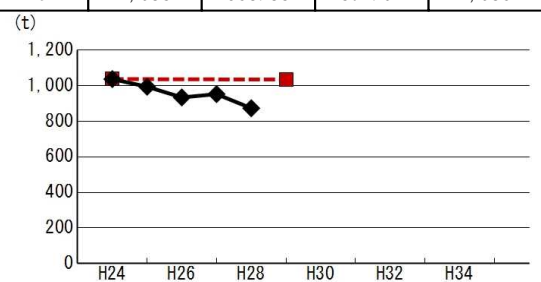
政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、事業者、廃棄物	ごみの排出を抑制し、リサイクルを推進するとともに、ごみを適正に処理していきます。

施策の成果状況と評価

指標	最終処分量	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【環境衛生課】	t	1,038	953.38	874.02	1,035	 (向上) <hr/> 目標達成度 <hr/>  (達成)
評価	(状況) 前年度に比べて79.36t減少しており、前期目標値は達成の見込みです。 (原因) 人口の減少が主な原因と考えられます。						

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	354,341

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-01 ごみ排出抑制の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民・事業者	ごみの排出を抑制します。

基本事業の成果状況と評価

指標	町民一人当たりのごみの排出量	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【環境衛生課】	g/日	815.1	793.5	795.9	790	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度に比べてわずかに指標値が低下していますが、前期目標値は達成の見込みです。 (原因) 転出や空き家対策など生活環境の変化により排出されるごみもあることから単純な減少とはなっていません。						目標達成度
							■ (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	33,022

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-02 リサイクルの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民・事業者	リサイクルを推進します。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	リサイクル率 【環境衛生課】	%	20.7	21.8	22.0	22	
評価	<p>(状況) 前年度と比較するとほぼ横ばいですが、前期目標値は達成の見込みです。 (原因) 住民の3R (Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル)) への関心の高まりによる適正な分別や包装容器の資源化対策によるものと考えられます。</p>						<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>
②	分別資源化活動を行っている町民の割合 【環境衛生課】	%	77.8	-	58.1	80	
評価	<p>(状況) 2年前と比べると11.5ポイント減少し、低下が著しい状況となっており分別活動を積極的に行っている町民の割合が減ってきています。 (原因) リサイクルの意識は高いですが、個人的に行っていることが多く団体での活動としては機会が少ないことが原因と思われる。</p>						<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (低)</p>

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	1,045

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-03 廃棄物の適正処理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民・事業者・行政	基本事業がめざす姿 廃棄物を安全かつ適正に処理します。
----------------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	町民一人当たりの廃棄物処理費用	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【環境衛生課】 (状況) 前年度と比較すると指標値が低下しているため前期目標値の達成が難しい状況です。 (原因) 人口が減少し、施設への搬入量は減少しているものの経常経費には処理量に反映しないものもあり、施設の老朽化による修繕も増えていることからコストが高くなっています。	円	9,358	10,120	10,784	9,300

Year	Actual Value (円)	Target Value (円)
H24	~9,500	9,300
H25	~10,000	9,300
H26	~10,500	9,300
H27	10,120	9,300
H28	10,784	9,300
H29	9,300	9,300

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	82,977

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-04 不法投棄の防止

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町域	不法投棄を早期に発見し、未然に防止します。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	不法投棄苦情対応件数 【環境衛生課】	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	21	12	13	15	
評価	(状況) 苦情件数は、前年度に比べほぼ横ばい状態ですが、前期目標値は達成の見込みです。 (原因) 大規模な不法投棄の苦情は少ないですが、苦情の出にくい少量の家庭用品の不法投棄が見受けられます。						(横ばい)
		(中)					

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	237,297

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-03 道路環境の充実

施策を実現する手段

基本事業 02-03-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業 02-03-02 国・県道の整備促進

基本事業 02-03-03 町道の整備促進

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

宇和島道路は、平成27年3月に全線開通し首都圏までの所要時間が短縮となりました。
津島道路の津島岩松～内海間の進捗状況は、柏地区において用地買収と並行し28年度から橋梁工事に着手しています。今後は、平成27年度に計画段階評価を進めるための調査箇所を選定された宿毛～内海間について、迅速な対応により計画段階評価を早期に完了するとともに、早期の新規事業化を図るため要望活動を継続する必要があります。

町道においては、地区要望をもとに道路改良、維持・管理の推進に努めていますが、町民の望む道を作るには町民の協力も必要不可欠です。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.82 (2.94)	--- (---)	2.72 (2.96)	➔
重要度	3.67 (3.58)	--- (---)	3.85 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民 道路利用者 道路	町外への移動時間の短縮され、安全で快適な通行ができます。 町内の道路において安全で快適な通行ができます。

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間 【建設課】	分	132	130	130	130	(横ばい)
評価	(状況) 前年度からの所要時間の短縮はありません。 (原因) 平成27年3月に宇和島道路が全線開通し所要時間が短縮しました。以南の津島道路については、平成28年度から内海地区で橋梁工事に着手し、並行して用地買収を順次行っています。						目標達成度 (中)

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	町内の道路環境の満足度 【建設課】	%	64.3	-	63.5	65	(横ばい)
評価	(状況) 指標値は横ばいの状況ですが、ある程度の満足は得られていると感じています。 (原因) 町内の道路は国道、県道、町道、農道、林道等いろいろな道路がありますが、町道だけでも総延長が約528kmあり維持・管理に苦慮しています。町民の協力があれば目標値に限りなく近づくと考えられます。						目標達成度 (中)

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	582,711

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 道路利用者 四国横断自動車道	基本事業がめざす姿 町外（宇和島・幡多圏域等）への移動時間の短縮され、快適で安全な通行ができます。
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	津島道路の開通は、町の発展のために必要と考える町民の割合 【建設課】	%	95.3	-	91.2	94	(横ばい) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 指標値は横ばいの状況です。 津島道路の津島岩松～内海間の進捗状況は、柏地区と津島側において用地買収と並行し、28年度から柏地区において橋梁工事に着手しています。 (原因) 平成27年3月に近隣の津島岩松ICが開通し、高速道路の愛南町への早期延伸が身近となり、依存度が高まりつつあると考えられます。						
指標②	宿毛までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合 【建設課】	%	90	-	87.9	90	(横ばい) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 指標値は横ばいの状況です。 (原因) 平成27年度に計画段階評価を進めるために調査箇所を選定された宿毛～内海間について、迅速な対応により、計画段階評価を早期に完了するとともに、早期の新規事業化を図るため要望活動を実施しています。						

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	20,389

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-02 国・県道の整備促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 国道・県道道路利用者	基本事業がめざす姿 道路環境が改善され、町外への移動時間が短縮されるとともに、快適で安全な通行ができます。
-----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	国道・県道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき								
①		%	59	-	64.9	60									
評価	(状況) 指標値は2.4ポイントの微減となっています。 (原因) 国・県道の線形不良整備事業の遅延意識が高くなっていると考えられます。本町は、四国西南地域の中で、国・県道整備が遅れており、産業や経済面の面で立ち遅れを余儀されていることから、引き続き、国・県に道路改良を要望していきます。	<table border="1"> <caption>道路満足度実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>64.9</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>64.9</td> </tr> </tbody> </table>					年度	満足度 (%)	H24	59	H26	64.9	H28	64.9	(低下) 目標達成度 (中)
年度	満足度 (%)														
H24	59														
H26	64.9														
H28	64.9														

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	14,994

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-03 町道の整備促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町道 道路利用者	基本事業がめざす姿 町民に身近な生活道路を整備し、安全で快適な通行ができます。
------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【建設課】	%	69.6	-	62.1	70	
評価	(状況) 前回と比較し3.6ポイントの減少であり、目標値には7.9ポイント届いていませんが、ある程度の満足は得られていると感じています。 (原因) 町道は総延長が約528kmあり維持・管理に苦慮しています。橋梁点検や道路改良等に経費を掛けているものの、町民の望むものにはなっていないと考えられます。以前は「道づくり」等により道路環境が保たれていましたが、そのような町民の活動が減少傾向にあります。町民に「道を愛する心」をもっただけだと目標値に限りなく近づくと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (低)
指標	町道の改良率	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【建設課】	%	47.6	-	-	65	
評価	(状況) 指標算出基礎の一つである道路台帳の補正(次回は平成30年度を予定)を行っていないため指標値の取得できず、現状値分析ができていません。 (原因)						比較不可 目標達成度 ---

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	458,849

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	88,479

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-04 公共交通の確保

施策を実現する手段

基本事業 02-04-01 町による生活交通の確保

基本事業 02-04-02 公共交通機関の利用促進

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

人口減少や少子高齢化の進行により民営バス及び町営コミュニティバスの利用者は年々減少しています。また、交通安全の観点からも高齢ドライバーの免許返納が今後増加するのではないかと想定されます。そこで、平成26年度に策定した「愛南町地域公共交通網形成計画」の基本方針である、誰もが移動できる持続可能な公共交通のあるまちの実現に向け愛南町にあった公共交通体系の構築が求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.56 (2.94)	--- (---)	2.59 (2.96)	➔
重要度	3.66 (3.58)	--- (---)	3.82 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	町内の移動に困る方が減少します。

施策の成果状況と評価

指標	町内の移動に困らない町民割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【総務課】	%	-	-	45.9	66	(横ばい)
評価	<p>(状況) 依然としてバス等の便数、運行時間に不便を感じている方が相当数いると判断されます。</p> <p>(原因) 不便を感じる理由の詳細を分析する材料がないことが、効果的な交通網の見直しに繋がらない一つの要因であると考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	85,325

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-01 町による生活交通の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 行政	基本事業がめざす姿 需要にあわせた効果的効率的で持続可能な交通手段を確保します。
---------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町営の交通手段の年間利用者数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【総務課】	人	-	17,134	15,683	-	(低下) 目標達成度 ---
評価	(状況) 年々減少傾向にあります。 (原因) 人口減少、少子高齢化及び一世帯当たりの自動車保有台数の増加によるものと考えられます。						

指標	町営の交通手段を運営するために必要な一世帯当たりの負担額	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【総務課】	円	1,298	1,286	1,297	1,100	(低下) 目標達成度 ■■■ (低)
評価	(状況) 前年度と比べ、1%弱低下しました。 (原因) 事業費の増加と併せて、世帯数が減少したためだと考えられます。						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	85,325

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-02 公共交通機関の利用促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 民間事業者	基本事業がめざす姿 既存のバス路線維持のために、町民のバスの利用を促進します。
------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	民間運行バス（宇和島自動車）の町内での年間利用者数 【総務課】	人	357,404	300,985	288,672	390,000	目標のうごき (低下)
評価	(状況) 年々減少傾向にあります。 (原因) 人口減少、少子高齢化及び一世帯当たりの自動車保有台数の増加によるものと考えられます。						目標達成度 (中)
②	民間運行バスの町内での平均乗車率 【総務課】	%	5.4	-	7.61	5.7	目標のうごき 比較不可
評価	(状況) 指標値は運行収入から乗車人数を算出して求めた値であるため、現状値分析ができません。 (原因)						目標達成度 ---
③	民間運行バスの町内路線維持に必要な1世帯当たりの負担額 【総務課】	円	3,142	5,365	6,279	2,850	目標のうごき (低下)
評価	(状況) 年々増加傾向にあります。 (原因) 利用者の減少による欠損額の増加によるものです。						目標達成度 (低)

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-05 安定的な水道水の供給

施策を実現する手段

基本事業 02-05-01 安定的な給水の推進

基本事業 02-05-02 経営の安定化

基本事業 02-05-03 地震、災害に強い水道の整備

基本事業 02-05-04 安全な給水の推進

基本事業 02-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

総務省から将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定が求められており、本町におきましても平成29年3月に策定しました。
 また、給水人口の減少に伴い、水道料金収入は年々減少している中、「料金制度の適正化」に向け、平成28年4月より料金改定を行いました。
 災害時等に安定した水道水の供給を確保するため、老朽化した施設の更新、水道管の更新・耐震化も求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.63 (2.94)	--- (---)	3.63 (2.96)	➔
重要度	3.18 (3.58)	--- (---)	3.34 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
愛南町営水道の給水区域内の町民	給水区域内の町民に対して、安定的に「安心・安全な水道水」を供給します。

施策の成果状況と評価

指標	水道水に満足している町民の割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①		%	88.8	-	89.2	89.6	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成26年度90.4%に対し1.2%減少し、前期目標値89.6%に対し0.4%下回り未達成であります。</p> <p>(原因) H28年度に実施した老朽化等の工事により断水の影響を受けた方 (H26年度108人→H28年度164人) が多くなったため、満足度が減少したのではないかと考えられます。</p> <p>また、全体的には、間接的ではありますが、料金改定を行ったにも拘わらず、水質や水圧が変わっていないとの理由により満足度が低下したのではないかと推測されます。</p>						目標達成度 ■■■ (高)

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	660,020

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-01 安定的な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
水道施設	老朽施設（配水管等）が整備され安定的に給水します。 有収率の向上により、施設維持管理費を削減します。

基本事業の成果状況と評価

指標①	有収率	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【水道課】	%	74.3	75.6	75.5	76	(横ばい)
評価	<p>(状況) 前年度に比べて0.1%減少し、前期目標値にも0.5%不足しています。</p> <p>(原因) 経年劣化した水道管の更新や漏水調査の外部委託を行い、成果向上に努めましたが、高度成長期に集中的に整備された老朽管はまだ残っており、それ以上の漏水（発見できないレベルの微量な漏水の集積）が多くなったと思われます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (高)</p>

指標②	突発的な断水件数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【水道課】	件	69	49	42	67	(向上)
評価	<p>(状況) 前年度に比べて7件減少しています。H23年度をピークに突発的な断水件数は減少傾向にあり、前期目標を達成しています。</p> <p>(原因) 経年劣化した水道管の更新や漏水調査の外部委託を行っており、これらの事業が成果向上に結びついたと考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p>

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	35,801

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-02 経営の安定化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 給水区域内の町民 水道事業者	基本事業がめざす姿 水道の運営基盤を強化し、適正な料金で使用できる体制を確立します。
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき															
①	経常収支比率（一般会計基準外操出金を除く。） 【水道課】	%	91.7	84.1	98.6	95	(向上)															
評価	(状況) 前年度に比べて14.5%増加しており、前期目標を達成しています。 (原因) 給水人口の減少及び少子高齢化の影響による水道料金収入の減少が続いていましたが、平成28年4月の料金改定を実施したことが成果向上に繋がり、大幅に改善されました。	<table border="1"> <caption>経常収支比率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>~90</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>~90</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>98.6</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>H29 (目標)</td> <td>-</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値	目標値	H24	~90	95	H26	~90	95	H28	98.6	95	H29 (目標)	-	95	目標達成度 (達成)
年度	実績値	目標値																				
H24	~90	95																				
H26	~90	95																				
H28	98.6	95																				
H29 (目標)	-	95																				
②	料金収納率 【水道課】	%	98.4	98.6	98.4	98.4	(横ばい)															
評価	(状況) 前年度に比べて0.2%減少してありますが、前期目標は達成しています。 (原因) 簡易水道事業会計の料金収納率が0.7%減少 (H27年度99.6%→H28年度98.9%) したことが大きな要因ですが、H29年4月より簡易水道事業会計が上水道事業会計に統合されたため、H29年3月末の簡易水道事業会計が打ち切り決算となり、一時的に収納率が低下したことによるものであり、実質的には前年度並みとなっています。	<table border="1"> <caption>料金収納率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>~98</td> <td>98.4</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>~98</td> <td>98.4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>98.6</td> <td>98.4</td> </tr> <tr> <td>H29 (目標)</td> <td>-</td> <td>98.4</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値	目標値	H24	~98	98.4	H26	~98	98.4	H28	98.6	98.4	H29 (目標)	-	98.4	目標達成度 (達成)
年度	実績値	目標値																				
H24	~98	98.4																				
H26	~98	98.4																				
H28	98.6	98.4																				
H29 (目標)	-	98.4																				

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	183,262

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-03 地震、災害に強い水道の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
水道施設	管路の耐震化、主要配水池等への緊急遮断弁の整備及び主要浄水場への自家発電の整備により、地震・災害時の断水等の被害を最小限にとどめます。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	管路の耐震化率 【水道課】	%	6.8	24.9	26.1	10.8	(向上)
評価	(状況) 前年度に比べて1.2%増加しており、前期目標を達成しています。 (原因) 経年劣化した水道管について、毎年約4km程度更新工事を行っていることが、成果向上に結びついたと考えられます。						目標達成度 (達成)
②	貯水施設における緊急遮断弁設置割合 【水道課】	%	77.8	77.8	77.8	77.8	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と同様の数値であり、前期目標を達成しています。 (原因) 500t以上の配水池9箇所のうち、7箇所について、「緊急遮断弁」の設置を終了し、災害時の水道水の確保に努めています。残りの2箇所についても今後、設置を検討していきます。						目標達成度 (達成)
③	浄水・送水施設における自家発電設備設置割合 【水道課】	%	75	75	75	75	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と同様の数値であり、前期目標を達成しています。 (原因) 中長期計画に基づいて、主要な浄水場等8箇所の内、6施設について、自家発電設備を設置し災害時の停電時の給水不良の解消に努めています。なお、H28年度は台風等による自家発電稼働実績はありません。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	240,425

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-04 安全な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
浄水水質	清浄で安全な水道水を供給します。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	浄水場の施設維持管理上の不具合件数 【水道課】	件	0	0	0	0	
評価	<p>(状況) 前年度と同様の0件であり、前期目標を達成し、安定的な水道水の供給を図ることができました。</p> <p>(原因) 毎日点検、委託業者による施設保守点検を実施してきたことから、これらの施策が浄水場の不具合による送水不能件数がなかったことに結びついたと考えられます。</p>	(件)					
②	水道水の水質検査において、基準値を上回った件数 【水道課】	件	0	0	0	0	
評価	<p>(状況) 前年度と同様の0件であり、前期目標を達成しており、水道水の水質検査において、基準値を上回ることなく安全な水道水の供給を実施することができました。</p> <p>(原因) 浄水場等での毎日検査、定期的な水道施設管理を実施していることから、水質検査において、基準値を上回ることなく安全な水道水を供給できたと考えられます。</p>	(件)					

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	43,281

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	157,251

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-01 水産業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

漁船漁業においては、魚価安が続く中、漁業者の高齢化や後継者不足により、漁船漁業による漁獲量が減少傾向にあります。特に、カツオの水揚げ量は、漁場の遠方化により近年急激な落ち込みを見せています。養殖業においては、資材、餌代が高騰する一方、魚価は、安値安定が続き厳しい状況が続いています。真珠・真珠母貝養殖については、近年徐々に上向きになっています。漁船漁業については、比較的安定的に漁獲する巻き網漁で漁獲される、イワシ、サバ、アジなどの魚価が安定的に維持できるよう、加工や販路、貯蔵（冷凍）施設の整備が課題となっています。養殖業については流通が滞っており、加工の必要性が高まっています。今後も、ぎょしょく教育など、消費拡大、販路開拓が必要となってきています。施設整備については、耐震、耐津波対策などの機能強化はもちろん、老朽化対策として機能保全も行う必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.06 (2.94)	--- (---)	3.20 (2.96)	➔
重要度	3.52 (3.58)	--- (---)	3.58 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-01 水産業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
漁業者 町民	漁業経営の安定化及び持続可能な水産業の推進に向けた環境の整備をします。

施策の成果状況と評価

指標	評価	漁業生産額	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		①	【水産課】	百万円	16,679	19,216	-	15,000
		(状況) カツオの水揚げ量は減少していますが、巻き網漁の水揚げ量が増加傾向にあり、全体的には横ばいと思われます。(港勢調査の確定が11月であるため、指標値は取得できていません。) (原因) カツオの群れが近海を通らなくなっていることによるものと考えられます。						目標達成度 ---
指標	評価	経営体数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		②	【水産課】	経営体数	458	421	-	350
		(状況) 減少傾向にあります。(港勢調査の確定が11月であるため、指標値は取得できていません。) (原因) 魚価安や高齢化によるものと考えられます。						目標達成度 ---

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	892,255

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者 漁協 行政	基本事業がめざす姿 漁港機能の充実を図り、漁業活動の安全性と稼働率を高めます。 高潮、津波等による被害から背後地の生命や財産を防護します。
----------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	漁港施設の充足率 【水産課】	%	41.7	42.4	42.4	42.4	(横ばい)
	(状況) 達成しています。 (原因) 港整備交付金事業の完了に伴い、岸壁L=30m及び物揚場L=70mが完成しました。よって、漁港施設の充足率の向上が図られています。						目標達成度 (達成)
②	海岸施設の整備率 【水産課】	%	28.7	28.7	31.0	31.6	(向上)
	(状況) 向上しています。 (原因) 深浦海岸保全施設整備事業の完了に伴い、護岸L=270mが完成しました。よって、海岸施設の整備率の向上が図られています。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	712,203

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁船漁業生産者 養殖業者 漁業者	基本事業がめざす姿 資源の保護、新技術の確立及び支援体制の整備によって、付加価値の高い水産物を安定的に供給できるようになります。 良好な漁場環境を保全し、安心安全な水産業の振興を目指します。
-----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	種苗放流数（車えび及びヒラメ） 【水産課】	尾	245,500	94,700	97,500	220,000	(横ばい)
評価	(状況) ヒラメ放流については、例年どおりでしたが、車エビ放流は前年より減少しました。また、新たにクエの放流を開始しました。 (原因) 車エビの種苗放流については、個体の定着が難しく成果が見えないため、前年に見直しを行いました。これにより、基準値及び目標値との比較ができていません。						目標達成度 ---
指標②	アコヤ貝（真珠母貝）種苗生産量 【水産課】	万個	1,513	1,903	1,831	1,200	(低下)
評価	(状況) アコヤ貝種苗生産注文数1,831万個に対し、100%である1,831万個生産し目標を達成しました。 (原因) 前年同様、生産管理とリスク分散を徹底したおかげで、安定生産に結び付きました。(病気による大量へい死、リーマンショックを乗り越え、真珠母貝養殖は安定を取り戻しつつあります。しかしながら、海洋資源開発センターでの種苗生産の成否は、養殖業者の経営に影響を及ぼすため、良い品質の貝を安定的に提供できるよう、生産には細心の注意を払っています。)						目標達成度 (達成)
指標③	水産用水基準の不適合件数 【水産課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 目標を達成しています。 (原因) 1年間で計4回の漁場環境調査を実施して動態を把握し、さらにそれを公表することで環境保全を啓発しているためです。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	42,753

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 住民 消費者	基本事業がめざす姿 ぎょしょく教育の普及推進活動によって、魚食と健康に関する普及・啓発を図ります。 ぎょしょく教育を通じて、地産地消を推進し、地元水産物の消費が拡大します。
----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	ぎょしょく教育に参加した町民の延べ人数 【水産課】	人	1,910	1,967	1,939	1,500	(横ばい)
評価	(状況) 目標値を達成しています。 (原因) 保育所、小中学校では、新たなぎょしょく教育の事業を行い、参加者の確保につとめたことが目標値の成果向上に結び付いたと考えられます。						目標達成度 (達成)
指標②	公共施設の給食（学校給食センター）における地元水産物の一人当たり利用額 【水産課】	円	2,430	1,455	1,879	1,600	(向上)
評価	(状況) 前年度より約3割増で地元産の水産物の利用額が向上しています。 (原因) カツオが不漁のため地元産の魚を利用する機会が減少しています。ヒロメやサツキマスなど新しい愛南町の水産物を利用して少しずつ利用頻度を向上させています。						目標達成度 (中)

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	14,510

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者 漁協 大学	基本事業がめざす姿 関係者が連携を図ることにより、地域の抱える水産課題を解決します。
----------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	共同研究開発成果による事業化件数 【水産課】	件	7	5	5	4	(横ばい)
評価	(状況) 前年同様に、愛媛大学、行政、水産関係者等が連携し、地域水産業振興に向けた共同研究を行っています。 (原因) 大学と連携する共同事業は、毎年内容等の精査はされており、事業内容は年々充実しています。						目標達成度 (高)
指標②	市場で付加価値が高い水産物数 【水産課】	種	3	3	4	4	(向上)
評価	(状況) 目標を達成しています。 (原因) 愛媛大学、愛媛県、水産関係者、愛南町が協働で推進している「スマ」が「伊予の媛貴海」として売り出される状況となっています。						目標達成度 (達成)
指標③	地域特別研究員数 【水産課】	人	9	8	9	13	(横ばい)
評価	(状況) 平成26年度に目標を達成したものの、その後に減少しています。 (原因) 南予水産研究センター教員の研究課題の変更、終了等により、民間企業の研究員が減少しています。						目標達成度 (中)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	3,046

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者	基本事業がめざす姿 地域漁業を担う漁業者を育成します。
----------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	漁業従事者数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【水産課】 (状況) 漁業者の高齢化が進む一方、新規就業者が少ない状況が続いています。 (原因) 魚価安により、安定した所得が得られないため、漁業者となるものが少なくなっています。また、特に高齢化率が高い一本釣り漁の漁業者の減少率が高くなっています。	人	2,225	2,005	1,887	2,000

年度	実績値
H24	2,200
H25	2,150
H26	2,100
H27	2,005
H28	1,887
H29	1,887

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	92

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	119,651

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-02 農林業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業 03-02-02 農畜産物の高付加価値化の推進

基本事業 03-02-03 農地の保全

基本事業 03-02-04 農業・農村環境の整備

基本事業 03-02-05 低コストで生産性の高い林業システムの確立

基本事業 03-02-06 地域資源の有効活用

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

農林業を取り巻く環境は、農林産物価格の低迷、資材高騰、鳥獣被害等により大変厳しい状況にあります。認定農業者数および農業生産法人数は横ばいですが、農家人口は減少しています。意欲のある経営体や集落営農組織の育成支援を図るとともに担い手を育成します。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.86 (2.94)	--- (---)	2.97 (2.96)	➔
重要度	3.57 (3.58)	--- (---)	3.61 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまじづくり

施策 03-02 農林業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
農林業者 農地 農業用施設	農林業者の所得向上を目的として、自然環境に配慮しつつ、地域特性を活かした安心安全な農林産物の安定生産及び販売を推進します。

施策の成果状況と評価

指標	農業者人口	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【農林課】	人	2,436	-	-	2,280	比較不可
評価	(状況) 指標地算出基礎の一つである農業委員会選挙人名簿作成事務がH26年度で終了したため指標値の取得ができず、現状値分析ができていません。 (原因)						目標達成度 ---

指標	間伐面積 (森林整備された面積)	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【農林課】	ha	280	114	98	300	傘 (低下)
評価	(状況) 前年比86%となり、減少傾向になっています。 (原因) 愛媛県の林業躍進プロジェクトにより、Co2減少を目的として主伐を計画的・段階的に導入していくこととしているため、県実施の治山事業による間伐実績が減少となったことが原因です。						目標達成度 ■■ (低)

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	483,314

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
農業者	町農業支援センターを核として、意欲のある経営体や集落営農組織の育成支援を図ります。

基本事業の成果状況と評価

指標	新規就農者数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき														
①	【農林課】	人	8	13	5	3	(低下)														
評価	(状況) 前年度と比べ8名の減少となっています。 (原因) 青年就農給付金事業の普及により新規採択者が落ち着いたことも影響し、H27に比べ減少となりました。しかし新規就農者数としては、40歳未満の青年者は2名追加(新規1名、親元1名)、40歳以上の中高年者は3名追加(Uターン1名、退職2名)で増加傾向になっています。	<table border="1"> <caption>新規就農者数 (人)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>8</td></tr> <tr><td>H25</td><td>7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>2</td></tr> <tr><td>H27</td><td>13</td></tr> <tr><td>H28</td><td>5</td></tr> <tr><td>H29 (目標)</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値	H24	8	H25	7	H26	2	H27	13	H28	5	H29 (目標)	3	目標達成度 (中)
年度	実績値																				
H24	8																				
H25	7																				
H26	2																				
H27	13																				
H28	5																				
H29 (目標)	3																				
②	【農林課】	人	174	156	150	170	(低下)														
評価	(状況) 前年と比べ6名の減少となっています。 (原因) 農業者の高齢化や死亡等による減少と考えられます。なお、認定新規就農者の認定期間終了後には認定農業者制度への移行を行えば成果が向上すると考えられます。	<table border="1"> <caption>認定農業者数 (人)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>174</td></tr> <tr><td>H25</td><td>170</td></tr> <tr><td>H26</td><td>160</td></tr> <tr><td>H27</td><td>156</td></tr> <tr><td>H28</td><td>150</td></tr> <tr><td>H29 (目標)</td><td>170</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値	H24	174	H25	170	H26	160	H27	156	H28	150	H29 (目標)	170	目標達成度 (中)
年度	実績値																				
H24	174																				
H25	170																				
H26	160																				
H27	156																				
H28	150																				
H29 (目標)	170																				
③	【農林課】	経営体	8	7	7	9	(横ばい)														
評価	(状況) 前年度と同数であり、農業生産法人数は横ばいです。 (原因) 法人化に向けての動きはありますが、まだ実現できていないのが原因です。	<table border="1"> <caption>農業生産法人数 (経営体)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>8</td></tr> <tr><td>H25</td><td>7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>7</td></tr> <tr><td>H29 (目標)</td><td>9</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値	H24	8	H25	7	H26	7	H27	7	H28	7	H29 (目標)	9	目標達成度 (中)
年度	実績値																				
H24	8																				
H25	7																				
H26	7																				
H27	7																				
H28	7																				
H29 (目標)	9																				

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	37,625

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-02 農畜産物の高付加価値化の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者	基本事業がめざす姿 地域の特性を活かした農産物の産地化や耕畜連携による畜産物の安定生産を支援し、農畜産物の高付加価値化を図ります。
----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	産地化を進める農産物の作付面積 【農林課】	ha	22.9	25.75	29.29	38	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比13.7%の増加となっています。 (原因) 平成27年度は年間を通じて悪天候による作付面積の減少がありましたが、平成28年度は好天に恵まれたこと、農協野菜部会への周知、制度が浸透してきたことにより補助申請者数が増えたためと思われます。						目標達成度 ■■■ (高)
②	飼料作物の作付面積 【農林課】	ha	23.3	20.3	17.1	30	☁ (横ばい)
評価	(状況) 作付面積は前年比84%となりましたが、作付農家数は横ばい状態になっています。 (原因) 天候不順による湿害のためイタリアングラスの収穫ができなかったため数値が低下したと思われます。しかし、そのほかの飼料作物は例年どおりであったため、大幅な減少にはならなかったのが原因です。						目標達成度 ■■ (中)
③	個別特産品等に関する行政支援満足度 【農林課】	%	-	-	91	-	比較不可
評価	(状況) 柑橘農家については愛南柑橘営農環境改革推進事業に係るアンケートを実施し、33名より回答を得て30名より「ふつう」以上の回答となっています。ハートオニオンについてはJ Aの推進及び植付けが減少傾向にあるため実施していません。 (原因) 愛南柑橘営農改革推進事業の実施により、町内の柑橘農家を対象とした営農環境改革プランを策定したことが、高評価を受けた原因と考えられます。						目標達成度 ---

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	11,231

政策 03 活力ある産業を育てるまじづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-03 農地の保全

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者 農地	基本事業がめざす姿 適正な農地管理、鳥獣被害軽減及び効率的な農地集積により、優良農地を確保します。
----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	耕作放棄地率	%	0.3	0.4	0.3	17	(向上)
評価	(状況) 前年と比べ再生可能な荒廃農地は37%減少となっています。 (原因) 再生可能な荒廃農地が、農地所有者から農業委員会に申請される山林化等再生困難な農地への転換が多く見られ、また個人再生により耕作地へ復旧したことにより、面積が減少したのが原因です。						目標達成度 (達成)
指標②	農地利用集積面積	ha	749.01	880.57	907.23	750	(向上)
評価	(状況) 前年と比べ3.0%の増加となっています。 (原因) 認定農業者等の担い手への農地の集積が進み、集積面積が増加したのが原因です。						目標達成度 (達成)
指標③	鳥獣被害面積	ha	47	18	15	40	(向上)
評価	(状況) 昨年度から3haの減少となっています。 (原因) イノシシ、ニホンジカの有害駆除等による捕獲頭数が前年より増加したのが原因です。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	154,381

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-04 農業・農村環境の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者 農地 農業用施設	基本事業がめざす姿 農業用道路、用水路などの施設整備、防災・減災を考慮したため池整備及び農業・農村の環境整備を行い、農村の総合的な支援を図ります。
--------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	地震時を考慮した貯水量5,000t以上のため池整備率 【農林課】	%	-	54	64	60	(向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 前年度より10ポイント増加しており、目標を達成しました。 (原因) 愛媛県に積極的に整備等の要望をするなど、計画的に防災・減災に向けて取り組んだため、ため池整備事業が実施されたことが原因です。						
②	生産基盤の整備がされていると思う農家の割合 【農林課】	%	-	-	40	75	比較不可 目標達成度 (中)
評価	(状況) 農家及び非農家を対象としたアンケートの結果、対策済、対策中と回答した方が40%となっており、まだ対策を望む町民が多い結果になっています。 (原因) 整備規模が大きいことから、愛媛県に要望を行っているが、予算的な要因から整備が進まないのが原因です。						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	115,728

政策 03 活力ある産業を育てるまじづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-05 低コストで生産性の高い林業システムの確立

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>林業者 森林</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>林道、林内作業道等の整備、高性能林業機械の導入を図ることにより、コストの低減と労働条件の改善を推進し、素材生産量の向上を図ります。</p>
----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	素材生産量 【農林課】	m3	3,766	7,986	9,222	5,200	(向上)
評価	<p>(状況) 前年比115%となり、目標を達成しました。 (原因) 町内の事業体が昨年実績より生産が増加したためです。</p>						(達成)
②	林業従業者数 【農林課】	人	52	52	52	52	(横ばい)
評価	<p>(状況) 前年度と同数であり、林業従業者は横ばい状態です。 (原因) 新規林業従業者の確保は中々進まない状況であります が、現状維持を保っています。</p>						(達成)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	22,732

政策 03 活力ある産業を育てるまじづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-06 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者 町民	基本事業がめざす姿 地産地消、グリーン・ツーリズム等の取組を推進し、都市住民との交流機会の拡大や地元農林水産物の利用促進を図ります。
----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき													
指標①	直売所の販売額	百万円	630	638	626	700	(低下) 目標達成度 (中)													
評価	(状況) 直売所数には変化はありませんが、全体販売額で見ると約12,000千円の減となっています。 (原因) 柑橘の収穫量が減少がみであったため、収穫量に比例し、販売額が減少したと考えられます。	<table border="1"> <caption>直売所の販売額 (百万円)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>630</td></tr> <tr><td>H25</td><td>610</td></tr> <tr><td>H26</td><td>600</td></tr> <tr><td>H27</td><td>638</td></tr> <tr><td>H28</td><td>626</td></tr> <tr><td>H29 (目標)</td><td>700</td></tr> </tbody> </table>						年度	実績値	H24	630	H25	610	H26	600	H27	638	H28	626	H29 (目標)
年度	実績値																			
H24	630																			
H25	610																			
H26	600																			
H27	638																			
H28	626																			
H29 (目標)	700																			
指標②	公共施設の給食（学校給食センター）で使用する地元農産物の割合	%	13	8.6	10.3	15	(向上) 目標達成度 (中)													
評価	(状況) 前年と比べて、1.7ポイントの増となりました。 (原因) 給食センターから、食材納入業者に対して、野菜を中心に地元産を優先的に納入するよう依頼した結果、町内産使用率が増加したと考えられます。	<table border="1"> <caption>公共施設の給食で使用する地元農産物の割合 (%)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>13</td></tr> <tr><td>H25</td><td>10</td></tr> <tr><td>H26</td><td>12</td></tr> <tr><td>H27</td><td>8.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>10.3</td></tr> <tr><td>H29 (目標)</td><td>15</td></tr> </tbody> </table>						年度	実績値	H24	13	H25	10	H26	12	H27	8.6	H28	10.3	H29 (目標)
年度	実績値																			
H24	13																			
H25	10																			
H26	12																			
H27	8.6																			
H28	10.3																			
H29 (目標)	15																			
指標③	交流人口数	人	8,361	8,526	8,569	8,800	(横ばい) 目標達成度 (中)													
評価	(状況) 前年度に比べて、交流人口が43名増となりました。 (原因) 前年度開催の「えひめいやしの南予博」に合わせて本町でも各種催しが開催されており、このことにより交流人口が増加したものと考えられます。	<table border="1"> <caption>交流人口数 (人)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>8,361</td></tr> <tr><td>H25</td><td>8,800</td></tr> <tr><td>H26</td><td>9,500</td></tr> <tr><td>H27</td><td>8,526</td></tr> <tr><td>H28</td><td>8,569</td></tr> <tr><td>H29 (目標)</td><td>8,800</td></tr> </tbody> </table>						年度	実績値	H24	8,361	H25	8,800	H26	9,500	H27	8,526	H28	8,569	H29 (目標)
年度	実績値																			
H24	8,361																			
H25	8,800																			
H26	9,500																			
H27	8,526																			
H28	8,569																			
H29 (目標)	8,800																			

基本事業のコスト (千円)

	H27	H28
コスト	0	9,821

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	131,796

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-03 商工業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-03-01 日常生活の買物環境づくり

基本事業 03-03-02 経営面の支援強化

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町の商工業は長引く景気の低迷、人口減少、少子高齢化による顧客の減少等により厳しい経営状況が続いています。また、今後経営者の高齢化により、やむを得ず廃業せざるをえない事業者が増えることが予想でき、このまま放置しておく、産業の空洞化により地域の衰退化が進むことが予想されます。
このような状況の中、商工会と連携した経営基盤強化につながる経営講習会への助成や利子補給制度等財政的な支援を継続するとともに、後継者不足による廃業の減少を図るための事業承継支援策が求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.72 (2.94)	--- (---)	2.75 (2.96)	➔
重要度	3.62 (3.58)	--- (---)	3.63 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
商工業者	商工会及び商店街振興組合と連携して、小売業者及び商工業者の生産性や販売力強化に向けた経営支援を図ります。

施策の成果状況と評価

指標	町内の小売業者数 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		件	341	305	296	280	
評価	(状況) 小売業者は前年比9件減少しています。 (原因) 事業主高齢による廃業が原因と考えられます。						(低下)
指標	町内の商工業者数 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		件	1,273	1,201	1,201	1,100	
評価	(状況) 前年比増減はありません。 (原因) 小売店の減少は見られますが、飲食店の増加により、増減は無しとなっております。						(横ばい)

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	96,073

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-01 日常生活の買物環境づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 商業事業者	基本事業がめざす姿 日常品の買物環境が整っています。
------------------------	-------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	日常の買い物に困っている町民割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき						
①		%	-	-	7.4	-	(横ばい)						
評価	(状況) 前回と比較して0.6%改善しています。 (原因) 指標値は改善しておりますが、前回調査時から増減はないものと思われます。	<table border="1"> <caption>買物環境に関する指標の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>7.4</td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	H26	8.0	H28	7.4	目標達成度 ■■■ (高)
年度	割合 (%)												
H26	8.0												
H28	7.4												

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	653

政策 03 活力ある産業を育てるまじづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-02 経営面の支援強化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>中小企業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>中小事業者の経営支援、運転資金の円滑な調達等を支援し、事業活動が持続的なものとなるよう努めます。</p>
-----------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業所数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	<p>【商工観光課】</p> <p>(状況) 商工会による会員指導や利子補給制度の活用等により経営安定に取り組む事業所が多く見られます。 (原因) 商工会及び各金融機関との連携がとれたことにより、事業等に広くPRすることが出来ていることが考えられます。</p>	所	1,067	974	975	

年度	実績値 (所)
H24	1,067
H27	974
H28	975

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	19,257

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	76,163

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-04 観光・物産の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

近年、わが国では、少子高齢化、グローバル化、情報化など、社会環境がめまぐるしく変化する中、価値観やライフスタイルの多様化を反映し、人々の観光ニーズも多様化しており、世界規模の大交流時代となった今、観光は「21世紀のリーディング産業の一つ」として、世界でも認識されています。

国では、観光立国の実現は21世紀のわが国の発展のために不可欠な課題であるとし、平成18年12月の「観光立国推進基本法」の制定に続き、平成19年6月には「観光立国推進基本計画の閣議決定」がなされるほど、国全体として官民をあげて、観光立国の実現に取り組む体制づくりが始まっています。さらに、平成20年10月には観光庁が発足し、広域的な連携や新たな観光旅行分野の展開が進められています。

観光は、地域産業のすべてを活性化させ、働く場を増やし、地域を潤します。また、人口減少や少子高齢化といった愛南町を取り巻く状況は厳しさを増しており、地域活性化による地方創生の実現は、重要な課題の一つとなっています。愛南町では、こうした背景をもとに、「愛南町観光振興計画」（以下、本計画）を策定し、愛南町の観光振興において戦略的な観光施策の展開を図り、交流人口の拡大や地域の活性化をめざすものとしします。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.85 (2.94)	--- (---)	2.95 (2.96)	➔
重要度	3.69 (3.58)	--- (---)	3.62 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
観光客	地域の魅力を理解し、町外から多くの観光客が訪れます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	年間観光客数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【商工観光課】 (状況) 前年度と同様、ほぼ横ばい状態で目標達成が大変厳しくなっています。 (原因) 南予博によりイベント数は増えましたが、近隣市町でイベントの同日開催などにより、観光客が分散したことが影響しています。	人	1,358,628	1,229,748	1,231,369	1,500,000

年度	実績値 (人)
H24	~1,350,000
H26	~1,250,000
H28	~1,230,000
H30 (目標)	1,500,000

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	225,088

政策 03 活力ある産業を育てるまじづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 特産品 観光スポット	基本事業がめざす姿 地域の資源（特産品や観光スポット）を一つとして捉え、観光客と食事客を同じ立場で位置付けることで付加価値をつけ誘客を促進します。
--------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	町内で観光客誘致のため開催される各種イベントにおける参加者数 【商工観光課】	人	88,500	80,479	87,087	100,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度比べ、約8%増加しています。 (原因) 南予博により愛南町に訪れた人が増加した結果です。						☀️ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)
指標②	町が支援する特産品販売イベントの開催回数 【商工観光課】	回	23	17	18	25	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 前年度に比べて1回増加しております。 (原因) イベント参加を精査し、8イベントに新規参加しました。						☁️ (横ばい) 目 標 達成度 ■■ (中)
指標③	町が支援する特産品販売イベントへの出店事業者数 【商工観光課】	事業者数	128	124	138	95	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度に比べて14業者増加しています。 (原因) 新規イベントへの参加による積極的な参加依頼により出店者数が増加したことが考えられます。						☀️ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	24,906

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政 町民 民間企業	基本事業がめざす姿 具体的な効果のあるPRを充実させ、旅行会社等と連携することにより観光客が望む内容を理解し、多くの方々に本町の魅力を知ってもらいます。
-----------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	観光協会ホームページへのアクセス数 【商工観光課】	件	86,930	134,622	110,210	100,000	(低下)
評価	(状況) 前年度に比べて18%減少しました。 (原因) 南予博開催により、他のホームページや情報誌に愛南町の情報が記載されたことが影響しています。						(達成)
②	マスコミ等（新聞、テレビ等）での掲載件数（有料・無料含） 【商工観光課】	件	10	76	96	60	(向上)
評価	(状況) 前年度と比較すると増加しています。 (原因) 伊予の媛貴海や「ゆるキャラグランプリ」の県内開催、また、愛南町出身者のミスユニバース愛媛県代表選出など明るい話題が多かったことが結果に出ています。						(達成)
③	新聞、テレビ、雑誌等へのリリース件数 【商工観光課】	件		52	42	30	(低下)
評価	(状況) 前年度に比べて、減少しています。 (原因) えひめいやしの南予博2016に係る情報発信がなくなったことが影響していますが、当課所管の食の3大イベントについては、例年どおり、積極的に情報を発信しています。						(中)

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	47,629

政策 03 活力ある産業を育てるまじづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政 町民 民間企業	基本事業がめざす姿 観光施設の維持管理やリニューアル、体験型観光等のメニュー見直しなどをして、魅力の向上を図ります。
-----------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	観光施設の不具合・トラブル件数 【商工観光課】	件	18	11	16	0	(低下)
評価	(状況) 前年度に比べて45%増加しています。 (原因) 施設の老朽化等による修繕が発生したことが影響しています。						目標達成度 (低)
②	リニューアルされた観光資源数 (施設、サービス、イベント等) 【商工観光課】	件	8	1	6	10	(向上)
評価	(状況) 前年度に比べて600%増加しています。 (原因) 南予博の開催によるイベントの開催が大きく影響しています。						目標達成度 (中)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	104,689

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	47,864

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-05 雇用対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業 03-05-02 創業支援の推進

基本事業 03-05-03 企業誘致の推進

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

雇用の創出の場の観点から企業誘致は非常に重要な問題ではありますが、愛媛県内でも、南予地域は輸送コストの問題等により、企業の新規誘致が進んでいないのが現状です。
 今後、これまで以上に企業誘致に向けた活動は関東、関西を中心に必要となると思われませんが、同時に現誘致企業の留置活動を積極的に行い、併せて町内商工業者の経営基盤強化にも取り組むことで町内での働く場の維持・拡大を図る必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.30 (2.94)	--- (---)	2.36 (2.96)	➔
重要度	4.11 (3.58)	--- (---)	4.11 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	雇用の拡大及び安定的な雇用の確保を図ることにより、町民が安心して働き、生活できます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	有効求人倍率 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		倍	0.46	0.42	0.45	0.5	
評価	(状況) 前年度から0.3ポイントの改善がみられます。 (原因) 国の経済政策による全国的な穏やかな景気回復による ことが考えられます。						(横ばい)
		目標達成度	■ ■ ■ (中)				

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	7,043

政策 03 活力ある産業を育てるまじづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民 所 事業	若年層、中高年齢者及び障害者への雇用相談や各種研修などを実施し、雇用促進を図ります。

基本事業の成果状況と評価

指標	求人数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【商工観光課】	人	539	828	837	600	(横ばい)
評価	(状況) 前年度比9人の増加がみられます。 (原因) 新規募集の影響はなく、継続して募集しているものが大半を占めているため、全体的に横ばいとなっています。						目標達成度 (達成)
指標	求職者の就職割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【商工観光課】	%	52.8	51.1	55.2	60	(向上)
評価	(状況) 前年度に比べ4.1ポイント向上しました。 (原因) 求職者数と求人件数の微増の結果です。						目標達成度 (中)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	4,004

政策 03 活力ある産業を育てるまわりづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-02 創業支援の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 個人又はグループで、法人を設立予定の者	基本事業がめざす姿 農林水産物、自然資源等の地域資源を活かした起業を支援します。
---------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき																				
①	地元資源活用型事業で、起業・新規参入した団体 【商工観光課】	件	1	0	0	1	(低下) 目標達成度 (低)																				
評価	(状況) 平成28年度においては、地域資源を活用した新規起業者はありませんでした。 (原因) 1件の申請はありましたが、起業化に至りませんでした。	<table border="1"> <caption>Indicator 1 Data</caption> <thead> <tr><th>Year</th><th>Actual Value</th><th>Target Value</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>						Year	Actual Value	Target Value	H27	0	1	H28	0	1	H29	-	1								
Year	Actual Value	Target Value																									
H27	0	1																									
H28	0	1																									
H29	-	1																									
②	新規起業者数 【商工観光課】	件	13	11	8	15	(低下) 目標達成度 (中)																				
評価	(状況) 前年比3件減少しています。 (原因) 景気の低迷による、新規起業者の減少が考えられます。	<table border="1"> <caption>Indicator 2 Data</caption> <thead> <tr><th>Year</th><th>Actual Value</th><th>Target Value</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>13</td><td>13</td></tr> <tr><td>H25</td><td>20</td><td>13</td></tr> <tr><td>H26</td><td>11</td><td>13</td></tr> <tr><td>H27</td><td>11</td><td>13</td></tr> <tr><td>H28</td><td>8</td><td>13</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td><td>15</td></tr> </tbody> </table>						Year	Actual Value	Target Value	H24	13	13	H25	20	13	H26	11	13	H27	11	13	H28	8	13	H29	-
Year	Actual Value	Target Value																									
H24	13	13																									
H25	20	13																									
H26	11	13																									
H27	11	13																									
H28	8	13																									
H29	-	15																									

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	0

政策 03 活力ある産業を育てるまじづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-03 企業誘致の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 中小企業 製造業 情報通信業	基本事業がめざす姿 企業誘致により、事業活動や雇用の拡大を図ります。
---------------------------------	---------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	製造業者等の誘致・留置件数 【商工観光課】	件	3	3	3	4	(横ばい)
評価	(状況) 誘致企業は、昨年度と同様の3件で、製造業の新規誘致企業はありませんでした。南予地域への新規企業の誘致は、輸送コスト等の問題もあり、大変厳しい状況となっております。 (原因) 製造業の場合、輸送コスト等の問題で、愛媛県内では、東予地域に集中しています。						目標達成度 (中)

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	誘致した製造業者等の町内雇用者数 【商工観光課】	人	176	177	172	200	(横ばい)
評価	(状況) 前年雇用者数は、前年比5名の減となっています。 (原因) 1企業において減少がみられますが、景気動向からみて、留置活動により立地企業とは良好な関係が保たれています						目標達成度 (中)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	3,039

政策 03 活力ある産業を育てるまりづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策を実現する手段

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業 04-01-02 新しい公共の推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

協働によるまちづくりは、愛南町自治基本条例に明記されているとおり、町民が主体的に町政へ参画できる機会を提供し、その意見を町政へ反映させることにより推進されますが、町民の町政への参画はまだ十分ではない状況です。

町広報誌やホームページ、SNSなどあらゆる広報媒体を利用して、行政情報を町民に分かりやすく伝えるとともに、公募委員や意見表明制度通じて町民のニーズを的確に把握し、社会情勢の変化にマッチした町民と行政の協働を図っていきます。

過疎・高齢化が進展し、町の周辺地域においては衰退が著しい地区も発生してきています。地域の運営・維持は、町の活性化の大きな課題となっており、地域と連携した効果的・効率的な地域コミュニティへの支援が必要な状況となっています。

時代の変化に伴い多様化していく行政ニーズに対応するため、NPO法人、ボランティア団体などの多様な主体と連携・交流し、福祉、産業等の分野でまちづくりに活かします。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.98 (2.94)	--- (---)	3.04 (2.96)	➔
重要度	3.44 (3.58)	--- (---)	3.47 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民 行政	町民、事業者及び行政、それぞれの役割を認識し、協働の精神で連携した、自立した地域社会づくりの活性化を図ります。

施策の成果状況と評価

指標 ①	町民、事業者及び行政が協働したまちづくりがなされていると思う町民の割合 【総務課】	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	51	-	55.4	60	
評価	(状況) 目標値の60%に達していませんが、平成26年度の52.2%から3.2ポイント増加しています。 (原因) 協働して実施した事業の認知度が上がったためと思われます。						☀ (向上)
		目標達成度	■■■ (高)				

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	150,196

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 行政	基本事業がめざす姿 地域活動が活発化することにより、連携意識の向上や地域の運営・維持が図られます。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町民の行政区への加入率	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき														
①	【総務課】	%	76.8	75	75	80	(横ばい)														
評価	(状況) 加入率は前年から増減ありません。 (原因) 行政区への加入率に変化はありませんが、人口の減少に伴い行政区に加入している世帯は減少傾向にあります。	<table border="1"> <caption>町民の行政区への加入率 (推定)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>加入率 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>76.8</td></tr> <tr><td>H25</td><td>76.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>76.8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>75.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>75.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>80.0</td></tr> </tbody> </table>					年度	加入率 (%)	H24	76.8	H25	76.8	H26	76.8	H27	75.0	H28	75.0	H29	80.0	目標達成度 (中)
年度	加入率 (%)																				
H24	76.8																				
H25	76.8																				
H26	76.8																				
H27	75.0																				
H28	75.0																				
H29	80.0																				

指標	地域コミュニティ活動への参加率	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき														
②	【総務課】	%	42.1	-	49.3	60	(低下)														
評価	(状況) 平成26年度の50.9%から1.6ポイント減少しています。 (原因) 御荘、城辺地域での参加していない方の割合が多く、20~29歳までの参加していない割合が70%となっていることなどが原因と思われます。	<table border="1"> <caption>地域コミュニティ活動への参加率 (推定)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>参加率 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>42.1</td></tr> <tr><td>H25</td><td>50.9</td></tr> <tr><td>H26</td><td>50.9</td></tr> <tr><td>H27</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>49.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>60.0</td></tr> </tbody> </table>					年度	参加率 (%)	H24	42.1	H25	50.9	H26	50.9	H27	-	H28	49.3	H29	60.0	目標達成度 (高)
年度	参加率 (%)																				
H24	42.1																				
H25	50.9																				
H26	50.9																				
H27	-																				
H28	49.3																				
H29	60.0																				

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	103,607

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-02 新しい公共の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 NPO ボランティア団体	基本事業がめざす姿 多様な市民活動（NPO法人、ボランティア等）が、協働担い手として、活動できる環境となっています。
---	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	団体情報ファイル（仮称）に記載されている各分野のNPO法人及びボランティア団体の数 【企画財政課】	団体	18	19	20	20	 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 昨年よりも1団体増加し、前期目標値は達成しています。 (原因) NPO団体数の増加によるものです。						

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標②	ボランティア活動やNPO活動をしている町民割合 【企画財政課】	%	-	-	17.3	10	 (横ばい) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 平成26年度と比べて、横ばい状態といえます。前期目標値は達成しています。 (原因) アンケート結果から、20～29歳を除く年齢層で前期目標値は達成しています。20～29歳で参加している割合が0%だったことが、横ばいの原因となったと考えられます。						

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民 行政	行政の情報を住民に十分に伝えます。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	町からの広報（広報誌及びホームページ）の量や内容が十分だと思う町民の割合 【総務課】	%	90.7	-	93.9	95	
評価	<p>(状況) 指標値はほぼ横ばいで推移していますが、やや不満、不満と答えた町民の割合は11.1%から5.7%まで下がっています。</p> <p>(原因) 広報誌とホームページを2人の職員が担当することで発信する情報が充実したことが成果向上に結びついたと考えられます。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標②	広報誌を読んでいる町民の割合 【総務課】	%	71.5	-	72.7	75	
評価	<p>(状況) 2年前に比べて0.3ポイント下がっていますが、ほぼ横ばいです。</p> <p>(原因) 毎号特集を掲載するなど、読みやすい紙面づくりを行ったことが、71.8%の町民が「毎号読む」と答える成果に結びついたと考えられます。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	5,716

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 行政	基本事業がめざす姿 町の事業、施策等における計画、実施、評価及び見直しに至るまでの各過程に町民が主体的に関わることによって、町民の町政への参画を図ります。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	公募による委員の割合 【総務課】	%	8	8	9	20	(横ばい)
評価	(状況) 委員の公募率は、前年度に比べて微増しています。 (原因) 平成28年度は積極的な取組により公募率が微増しましたが、目標値を大幅に下回っているため、町広報誌やホームページ等による更なる周知が必要です。						目標達成度 (低)
指標②	町政に町民の意見が反映できていると感じている住民の割合 【総務課】	%	46.6	-	52.3	60	(横ばい)
評価	(状況) 平成26年度52.2%から0.1ポイントと増加しています。 (原因) 西海地域と内海地域であまり反映されていない、全く反映されていないの割合が高くなっています。30～39歳までのやや反映されていると思うの割合が54.0%と半数を超えていることが原因と思われます。						目標達成度 (中)
指標③	意見表明制度の実施回数 【総務課】	回	3	4	4	8	(横ばい)
評価	(状況) 実施回数は、前年度に比べて増減ありません。 (原因) 愛南町自治基本条例第21条に基づき、実施できるパブリックコメントは全て実施しています。						目標達成度 (達成)
指標④	地区要望により実施した事業割合 【総務課】	%	62.2	72.5	67.0	70	(横ばい)
評価	(状況) 地区要望による事業割合は、ほぼ横ばいです。 (原因) 地区要望の件数が多く、予算にも限りがあるので実施率は、ほぼ横ばいとなったと考えられます。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	302

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 行政	基本事業がめざす姿 町民が町政に関する情報を分かりやすく取得でき、町と町民が情報を共有することによって、町政の透明性と公平性を高めます。
---------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	委員会等の会議録の公開率 【総務課】	%	100	100	100	100	(横ばい)
評価	(状況) 公開できる会議は、全て公開しています。 (原因) 愛南町自治基本条例第17条、第18条に基づき、公開しています。						目標達成度 (達成)
指標②	情報公開請求の公開率 【総務課】	%	100	88	93	100	(横ばい)
評価	(状況) 公開率は、前年度に比べて増加しています。 (原因) 不開示決定を行った案件(1件)があったためです。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	40,571

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-02-01 自主防災体制の確立

基本事業 04-02-02 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業 04-02-03 耐震化の促進

基本事業 04-02-04 防災情報通信網の強化

基本事業 04-02-05 災害時支援体制の確立

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

【環境変化】

近い将来、南海トラフ地震の発生が高い確率で予想されています。熊本地震の発生もあり、従来の津波から逃げる行動より先に強烈な揺れから命を守ることが、避難準備・避難行動の第一歩であるという認識が深まりつつあります。また、近年の地球温暖化などの影響もあり全国的に風水害被害も増加・甚大化の傾向にあります。

大災害から、かけがえのない生命と財産を守るためには、町民一人ひとりの日頃からの備え、発災時における命を守るための主体的な行動、地域住民相互の助け合い、町民と行政の連携、公的機関の連携強化など、地域防災力の向上が重要になってきます。

【課題】

町民一人ひとりが自分の命は自分で守る(自助)、地域住民が連携して地域の安全はみんなで守る(共助)、行政が災害に強い地域の基盤整備を進める(公助)の3つを防災対策の柱とし、これらの連携を強化していかなければなりません。

なかでも、地域住民の連携がカギとなる共助の部分を強化することにより、町と町民が一体となって防災対応能力の向上を図り、災害に強く、「自立と協働による安心安全なまちづくり」を推進することが求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.02 (2.94)	--- (---)	3.01 (2.96)	➔
重要度	3.67 (3.58)	--- (---)	3.76 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民・行政</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>地域に密着し機能する持続可能な防災地域社会システム(防災文化)を創造することにより、町の防災力・減災力の向上を図ります。</p>
---------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	行政の防災対策に安心感を持っている町民割合 【消防本部】	%	65.4	-	64.3	90	(横ばい)
評価	<p>(状況) 2年前に比べ、4.4ポイント減少していますが、おおよそ半数以上の町民が安心感を持っています。</p> <p>(原因) 不安を持っている理由として、未曾有の大災害に対する恐怖や不安が考えられますので、今まで以上にソフト、ハードの両面で推進し啓発を行っていきます。</p>						(中)
②	地域(行政区・自主防災組織)の防災力に安心感を持っている町民割合 【消防本部】	%	59.4	-	57.2	80	(横ばい)
評価	<p>(状況) 2年前に比べ、6.1ポイント減少していますが、おおよそ6割の町民が、安心感をもっています。</p> <p>(原因) 自主防災組織の結成率は100%で、地域に防災士も増えてきており防災力は向上していますが、大災害に備える地域での防災対策の取組に温度差があり、地域の防災力を認識していないことが考えられます。</p>						(中)
③	家庭の防災力に安心感を持っている町民割合 【消防本部】	%	52.2	-	49.3	70	(横ばい)
評価	<p>(状況) 2年前と比べ2.2ポイント減少していますが、半数の町民が安心感を持っています。</p> <p>(原因) 耐震化の促進や非常時持ち出し袋の購入補助、避難訓練等により家庭の防災力は確実に向上していますが、目に見えない不安があるように思えます。</p>						(中)

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	158,913

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-01 自主防災体制の確立

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	組織率100%を達成した自主防災組織体制を維持しつつ、災害時要援護者支援対策及び家庭での防災対策の実践を強化することにより、組織活動を活性化させます。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	訓練等を実施している自主防災組織の割合	%	28.9	26.5	31.3	100	(横ばい)
評価	(状況) 前年度より4.8ポイント増加しましたが、全体的に横ばい状態です。 (原因) 自主防災会の訓練については、自主防災会代表者の総会で実施を呼びかけていますが、訓練を実施する自主防災会が限定されていることが影響していると思われます。						目標達成度
指標②	災害時要援護者支援台帳の整備割合	%	37.3	100	100	100	(横ばい)
評価	(状況) 対基準値より向上しており、目標値も達成しています。 (原因) 平成24年度から3年間、専門職員を配置して戸別訪問をしたことにより、平成27年度に100%を達成しました。						目標達成度
指標③	防災資機材の整備箇所数	箇所	145	158	158	145	(横ばい)
評価	(状況) 基準値と比較して向上し、目標値を達成しています。 (原因) 自主防災会代表者の総会等で、防災資機材整備事業を周知したことにより、町内すべての地区に設置が完了しています。						目標達成度
指標④	家庭での防災対策実践項目数 (全11項目における平均実践度)	項目	-	-	3.72	9	(横ばい)
評価	(状況) 前回より0.2ポイント減少しており、家庭での防災対策が余り実践されていません。 (原因) 防災対策のうち、家具転倒防止策、救急用セット、住宅用火災警報器の設置等の備えをしている家庭の割合が低く、対策に時間や費用がかかるものが多くなっています。さらに、災害時のことを家族で話し合いができていないことなども影響していると思われます。						目標達成度

基本事業のコスト (千円)

	H27	H28
	0	1,031

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-02 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	迫り来る未曾有の危機に対する知恵・公的精神(連帯・我慢・利他)・技能が、親から子、子から孫へと世代間で継承されていく防災地域社会システム(防災文化)を創造します。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	災害時の初期対応・避難について、正しい理解をしている町民割合 【消防本部】	%	-	-	-	90	比較不可 目標達成度 ■■ (中)
評価	(状況) 各地域、職域、学校単位での防災訓練を継続的に実施することで、災害時の初期対応、避難行動について正しい防災知識の普及と防災意識の向上が見られます。 (原因) 大災害時に命を守る行動をすべての住民が初期対応し、避難行動を正しく行うことが最も重要であると考え、自主防災組織等と協力し、防災啓発事業に取り組んでいることが考えられます。	(%)		■			
②	災害時の初期対応・避難について、正しい理解をしているこどもの割合 【消防本部】	%	-	-	-	90	比較不可 目標達成度 ■■ (中)
評価	(状況) 学校等と協力し、防災啓発事業に積極的に取り組み、児童・生徒への正しい知識の普及と防災意識向上に努めています。 (原因) 学校防災教育指定校を小中学校核1校を選定し、児童生徒の災害時初期対応・避難について正しい理解を深めています。また、町内の小中学校の学年単位、PTA単位での防災学習を行い防災意識の向上に繋がっています。	(%)		■			

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	1,695

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-03 耐震化の促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 住宅 防災拠点施設	基本事業がめざす姿 住宅内での被害軽減及び避難施設・避難収容施設の防災拠点化に向けて、耐震化を進展させます。
-------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	住宅の新耐震基準適合率	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【消防本部】	%	52.5	52.9	53.2	70	(向上)
評価	(状況) 前年度と比較して0.3ポイント耐震化率が上昇しました。 (原因) 自然的住宅更新により耐震化率が増加していると思われます。						目標達成度 (低)
指標	防災拠点施設の新耐震基準適合率	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【消防本部】	%	92.7	98.3	98.3	100	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と比較して横ばい状態となっています。 (原因) ほぼ全ての防災拠点について、耐震化は完了していますが、1施設の1部について耐震改修工事を行っていないことに因ります。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	420

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-04 防災情報通信網の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 防災拠点施設・自主防災組織・消防団・家庭	基本事業がめざす姿 防災行政無線統合整備(デジタル化)及び自主防災組織への衛星携帯電話拡充整備等による防災情報通信網の多重化と一般化を図ります。
---------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	防炎情報通信網の数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①		システム	10	10	11	10	(向上)
評価	(状況) 前年度と比較して、新たに情報網を整備しました。 (原因) 愛媛県災害情報システムの導入により、増加したものです。	(システム) 					目標達成度 (達成)
指標	衛星携帯電話の整備数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②		基	28	38	38	40	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と比較して横ばい状態となっています。 (原因) 孤立可能性のある集落に整備が完了したためです。	(基) 					目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	31,811

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-05 災害時支援体制の確立

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 防災拠点施設 防災機関・民間事業所	基本事業がめざす姿 食糧及び物資の備蓄を推進し、各種機関や民間企業等との協定により災害時の町民への支援及び町民の避難体制を整えます。
---------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	食糧の備蓄充足割合 (H25~H29 5か年計画) 【消防本部】	%	12	71.2	76.3	100	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度に比べ、5.1%ポイントし、備蓄計画どおりに進めています。 (原因) 計画により、アルファ米1,500食、乾パン2,952食を購入しました。						☀ (向上) 目標達成度 ■■■ (高)
②	物資の備蓄充足割合 (H25~H29 5か年計画) 【消防本部】	%	23.4	28.5	38.2	100	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度に比べて9.7ポイント増加し、備蓄計画どおりに進めています。 (原因) 熊本地震により、被災地に支援物資として拠出した分を含め、災害用毛布1,120枚、ブランケット900枚を購入しました。						☀ (向上) 目標達成度 ■■ (低)
③	災害協定を締結した機関数 【消防本部】	機関	24	34	38	24	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度と比べ4機関増加し、目標値を上回っています。 (原因) 南宇和郡医師会、愛媛県薬剤師会宇和島支部、愛媛県石油商業組合、株式会社フソウ四国支店と協定を締結しました。						☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	19,807

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	104,149

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

災害の大規模化や住民ニーズの多様化など、消防を取り巻く環境は大きく変化しています。消防はこの変化に的確に対応し、住民の生命・財産を守る責任を果たしていく必要があります。

そのため、消防力の整備指針に基づき、資器材、消防車両等を整備することにより、消防・救急体制の強化を進めます。今年度は、昨年度消防庁舎建設に伴い整備した、高機能消防指令センターおよびデジタル無線設備の保守点検を専門業者に委託したことにより、1件の事故もなく通信業務を運用しました。

また、住民の高齢化により救急車の利用率が年々増加傾向にあることに加え、基幹病院の医師数の減少によって、管外搬送件数が増加してきていることにより、なお一層の救急体制の強化を図るため、老朽化した救急車および高度救命資器材の更新を行い救命率の向上を図りました。

さらに、新築住宅に対する住宅用火災警報器の設置義務化から11年が経過した一方、現在設置されている住宅用火災警報器の多くは寿命が10年の電池を使用しているため、今後警報器の電池切れ・故障等が増えるものと想定されることにより、今後は警報器の普及促進に加え、維持管理の啓発を行い、火災による人的・物的被害を軽減します。

地域の防災拠点である消防団詰所の充実を図る必要があり、老朽化した詰所および小型ポンプ・車両等を計画的に更新することにより、消防団員の活性化につなげ地域の消防体制の充実を図ります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.18 (2.94)	--- (---)	3.18 (2.96)	➔
重要度	3.60 (3.58)	--- (---)	3.67 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象 町民 消防団 消防職員	施策がめざす姿 施設及び人員を活用して、生命、身体及び財産を守り、被害を軽減することによって、安心安全な町になります。
----------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	1万人あたり火災発生件数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【消防本部】	件	4.46	2.6	3.5	3.8	(低下)
評価	(状況) 平成28年度に発生した火災は、建物火災3件、その他の火災4件、車両火災1件で、合計8件の火災が発生し、その損害額は1,586千円です。 平成28年4月1日現在の愛南町の人口は22,843人で10,000人当たりの火災発生件数は3.5件と平成27年度全国平均出火率3.05件よりも多く発生しています。 (原因) 出火原因については、火災件数8件の内、たきび・たばこ等による火の不始末によるものが6件を占めています。						(低下) 目標達成度 (達成)
②	【消防本部】	千円	994	15,680	1,586	8,500	(向上)
評価	(状況) 平成28年度に発生した火災は、建物火災3件、その他の火災4件、車両火災が1件発生し、昨年度より2件増加していますが、その損害額は昨年度の10%の1,586千円です。 (原因) 建物火災3件の内訳は住宅火災1件、倉庫火災2件です。損害額の70%が住宅火災の損害額です。損害額は前年と比較し極端に少なく、この原因は出火建物の築年数がかかなり経過していたため、建物の評価額が少なかったことによるものです。						(向上) 目標達成度 (達成)
③	【消防本部】	分	8.5	8.8	9.6	8.3	(低下)
評価	(状況) 救急出場件数は毎年増加しており、前年度より31件増加し1,209件の出場がありました。また、救急車の平均到着時間は、前年と比較して0.8分延伸しています。 (原因) 到着時間の延伸原因は、消防庁舎が城辺地区の東側に移動したのに対し、御荘・西海・内海地域方面での救急件数が増加(10%)したことによるものと考えられます。						(低下) 目標達成度 (高)
④	【消防本部】	分	37.4	44.5	42.4	36.5	(横ばい)
評価	(状況) 患者収容時間の平均は、前年より2.1分短縮しました。 (原因) 管内の基幹病院である県立南宇和病院の医師不足は解消されていませんが、病院の救急医療体制の見直しを行い、救急患者の受入率を上げてくれたことによるものと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (高)

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	495,325

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 消防施設 消防車両 消防職員	基本事業がめざす姿 消防力の整備指針に基づく基準人員及び装備を確保することにより消防力を強化します。
---------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標①	消防力基準の達成率（装備）	単位	基準値	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H29）	指標のうごき																								
	【消防本部】	%	100	100	100	100	(横ばい)																								
評価	(状況) 消防力の整備指針に基づき、消防ポンプ自動車2台、救急自動車2台、救助工作車1台を整備しており、老朽化車両は随時更新を行っています。 (原因) 28年度は救急車1台および高度救命処置用資器材の更新を行い救急体制の強化を図りました。	<table border="1"> <caption>消防力基準の達成率（装備）実績値</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>100</td></tr> <tr><td>H25</td><td>100</td></tr> <tr><td>H26</td><td>100</td></tr> <tr><td>H27</td><td>100</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100</td></tr> <tr><td>H29</td><td>100</td></tr> <tr><td>H30</td><td>100</td></tr> <tr><td>H31</td><td>100</td></tr> <tr><td>H32</td><td>100</td></tr> <tr><td>H33</td><td>100</td></tr> <tr><td>H34</td><td>100</td></tr> </tbody> </table>					年度	達成率 (%)	H24	100	H25	100	H26	100	H27	100	H28	100	H29	100	H30	100	H31	100	H32	100	H33	100	H34	100	(達成) 目標達成度
年度	達成率 (%)																														
H24	100																														
H25	100																														
H26	100																														
H27	100																														
H28	100																														
H29	100																														
H30	100																														
H31	100																														
H32	100																														
H33	100																														
H34	100																														

指標②	消防力基準の達成率（人員）	単位	基準値	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H29）	指標のうごき																								
	【消防本部】	%	66	69	67	68	(横ばい)																								
評価	(状況) 消防力の整備指針に基づく基準人員は69名ですが、現在の職員数は46名であります。そのうち、行政職員が5名含まれており、41名の消防吏員で消防業務を行っていますが、隔日勤務者の人員が少ないため、救急出場等が重複した場合、非番職員を招集し災害対応に当たっています。 (原因) 消防本部内に、防災対策課、消防団係が置かれており、第三者の目から見れば、全体の職員数としては多く感じられているのではないかと考えます。	<table border="1"> <caption>消防力基準の達成率（人員）実績値</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>66</td></tr> <tr><td>H25</td><td>67</td></tr> <tr><td>H26</td><td>68</td></tr> <tr><td>H27</td><td>69</td></tr> <tr><td>H28</td><td>67</td></tr> <tr><td>H29</td><td>68</td></tr> <tr><td>H30</td><td>67</td></tr> <tr><td>H31</td><td>68</td></tr> <tr><td>H32</td><td>67</td></tr> <tr><td>H33</td><td>68</td></tr> <tr><td>H34</td><td>67</td></tr> </tbody> </table>					年度	達成率 (%)	H24	66	H25	67	H26	68	H27	69	H28	67	H29	68	H30	67	H31	68	H32	67	H33	68	H34	67	(高) 目標達成度
年度	達成率 (%)																														
H24	66																														
H25	67																														
H26	68																														
H27	69																														
H28	67																														
H29	68																														
H30	67																														
H31	68																														
H32	67																														
H33	68																														
H34	67																														

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	43,453

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 消防職員	基本事業がめざす姿 町民による救命、救急車の適正利用等により、救急救命体制が充実し、救命率の向上を図ります。
-----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	救命講習の受講人員数 【消防本部】	人	1,825	2,337	2,173	2,400	(低下) 目標達成度 ■■■ (高)
評価	(状況) 救命率の向上を図るため、小・中・高等学校は基より、各種事業所において応急手当普及啓発活動を行い、また町ホームページ等を活用し救命講習の受講呼び掛けを行っています。前年度より受講者数が164名減少しました。 (原因) 各種団体への、救命講習受講呼び掛けを行っていますが、町内の人口減少および再受講者数の減少に起因するものと思われます。						
指標②	管外搬送件数 【消防本部】	件	253	221	238	200	(低下) 目標達成度 ■■■ (高)
評価	(状況) 28年度の管外搬送件数は238件と前年より17件増加しており、平成25年度をピークに年々減少傾向にありましたが、現在もなお救急搬送件数の20%強を管外搬送が占めている状況です。 (原因) 増加にかかる起因は、町内の基幹病院の医師不足により緊急手術ができず、宇和島市・宿毛市等の救急病院へ搬送しなければならないためです。						
指標③	軽傷者の搬送割合 【消防本部】	%	37	40	41	33	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
評価	(状況) 救急自動車の適正利用等の広報活動により、平成23年度から減少傾向にあった軽症者の搬送が、平成26年度から救急出場件数の増加に伴い徐々に上昇しています。全国的な統計でも、28年度救急搬送患者の約49.2%は軽症者であるという現状に対し当町では軽症者の搬送割合は41%でありました。 (原因) 軽症者の搬送割合が上昇している原因として、高齢の傷病者の増加等が考えられる一方で、「夜間において交通手段がないため要請する傷病者の増加」や「頻回利用者からの要請」等の不適正利用が挙げられます。						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	4,571

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民 事業者	消防法令に基づく消防用設備等の設置により、火災の被害を軽減します。

基本事業の成果状況と評価

指標	住宅用火災警報器普及率	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき										
①	【消防本部】	%	53.9	58.3	63.5	80	(横ばい)										
評価	<p>(状況) 警報器の普及率は昨年度と比較して5.2%上昇しています。平成28年6月1日時点の総務省消防庁の推計では全国の条例適合率は66.5%、愛媛県では70.8%となっています。愛南町においては条例適合率33.3%、設置率58.3%と愛媛県でも低い数値でしたが、28年度末に実施した調査では、設置率63.5%、条例適合率43.5%に上昇しました。</p> <p>(原因) ケーブルテレビ等を活用した住宅用火災警報器の設置推進広報および啓発が功を奏し、僅かですが上昇しています。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H24</td><td>53.9</td></tr> <tr><td>H26</td><td>58.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>63.5</td></tr> <tr><td>H29 (目標)</td><td>80</td></tr> </table>					年度	実績値	H24	53.9	H26	58.3	H28	63.5	H29 (目標)	80	<p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>
年度	実績値																
H24	53.9																
H26	58.3																
H28	63.5																
H29 (目標)	80																
指標	予防査察実施の割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき										
②	【消防本部】	%	21.3	12.4	10.6	25	(横ばい)										
評価	<p>(状況) 前年度と比較して1.8ポイント低下しています。平成28年4月現在で管内の防火対象物は872棟、危険物施設は103施設です。査察の実施件数は防火対象物78件、危険物施設26件で合計104件です。</p> <p>(原因) 職員の不足により査察の専門員を配置することができず、兼務で行っていますので業務が重なり実施できなかったことが原因です。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H24</td><td>21.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>12.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>10.6</td></tr> <tr><td>H29 (目標)</td><td>25</td></tr> </table>					年度	実績値	H24	21.3	H26	12.4	H28	10.6	H29 (目標)	25	<p>目標達成度</p> <p>■■ (低)</p>
年度	実績値																
H24	21.3																
H26	12.4																
H28	10.6																
H29 (目標)	25																

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	85

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
消防団	消防団員の確保及び設備の整備等による地域防災力の向上を図ります。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	消防団員の定数充足率	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【消防本部】 (状況) 前年度に比べて1.8ポイント減少(18名減)して、定数とは48名の開きができました。 (原因) 町内在住の青年や女性等に、団員への勧誘を進め、36名入団しましたが、高齢などの理由により、退団者が54名に増えたことが原因です。特に町中心地から遠い小さな集落では、若い町民が少なく、団員の確保がとて厳しくなっていて、支部の存続も難しくなっています。少子高齢化等の影響が考えられます。	%	91.1	97.1	95.3	

基本事業のコスト(千円)

H27	H28
0	137,130

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	310,086

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業 04-04-04 安全な消費生活の確保

基本事業 04-04-05 消費者啓発・教育の充実

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

昨年度に比べ交通事故発生件数は増加しており、また高齢者が当事者となる割合は依然として高く、交通死亡事故も後を絶ちません。そこで、高齢者をはじめ町民への交通安全意識の高揚を図るため、啓発事業を行う必要があります。

町内における刑法犯の認知件数は前年と比べ増加し、特殊詐欺等予兆事案は依然として発生しているなど、安全安心なまちとは言えません。そこで、町民への防犯意識の高揚を図るため、啓発事業を行う必要があります。

町民が安全に消費生活を送ることができるよう、クーリングオフ制度の周知、消費者相談等の充実に取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.04 (2.94)	--- (---)	3.06 (2.96)	➔
重要度	3.53 (3.58)	--- (---)	3.55 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	交通事故の発生が抑制されています。 犯罪の発生が抑制されています。

施策の成果状況と評価

指標	評価	指標の うごき	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)
			件	47	33	34	44
①	交通事故発生件数 【総務課】	<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>	(状況) 目標値は達成しましたが、国道56号線における若い世代の事故が多く発生しました。 (原因) 子ども高齢者以外の町民への交通事故防止の啓発活動が不足しているためだと考えられます。				
②	犯罪発生件数 【総務課】		<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(中)</p>	(状況) 前年に比べ、38件認知件数が増加しました。 (原因) 窃盗犯が前年より45件増加したためです。			

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	21,679

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民（特に高齢者）、交通安全協会	基本事業がめざす姿 町民、特に高齢者の交通安全意識が高まり、交通事故の発生が抑制されます。
-----------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	町民が第1当事者となった交通事故発生件数 【総務課】	件	33	33	34	32	(低下) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 前年度より1件増加しました。 (原因) 国道56号線における若い世代の事故が発生したためです。						

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	高齢者の交通事故発生件数 【総務課】	件	24	31	26	17	(向上) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 前年に比べ5件減少しました。 (原因) 交通安全協会をはじめとする関係機関による、高齢者への交通安全啓発活動が浸透したためだと考えられます。						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	5,963

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、町道	必要な交通安全施設が整備され、危険箇所が少なくなります。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	カーブミラー設置箇所数 【総務課】	件	10	11	15	16	(向上)
評価	(状況) 設置件数は前年度より増加しました。 (原因) 生活道としての役割などの変化から国道や農道への設置要望があったためです。						目標達成度 ■■■ (高)
②	ガードレール（ガードパイプ）整備延長距離数 【建設課】	m	474.2	487.5	165.5	220	(低下)
評価	(状況) 整備延長は前年度より減少しました。 (原因) 交通安全施策としては、順次必要なガードレール・ガードパイプの整備が図られていることが原因ではないかと考えられます。						目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	7,301

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 防犯意識が向上するとともに、防犯環境の整備を進め、犯罪の発生が抑制されています。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	犯罪も少なく安心して暮らせる地域になっていると思う町民の割合 【総務課】	%	-	-	85.5	-	(横ばい)
評価	(状況) 犯罪の認知件数は増加傾向にあります。 (原因) この数年間、凶悪犯が発生していないことが原因と考えられます。						目標達成度 ---

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	8,314

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

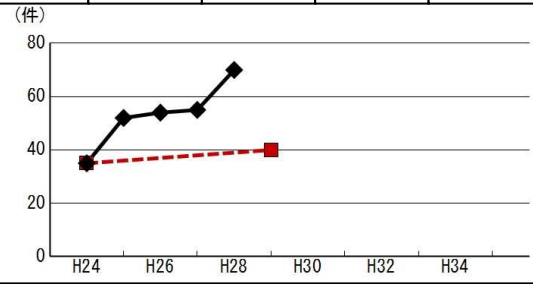
基本事業 04-04-04 安全な消費生活の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	消費者が安全な消費生活を送ることができます。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	消費生活相談の解決策を提示できた件数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【商工観光課】 (状況) 消費生活相談で解決策を提示できた件数は、年々増加傾向にあります。 (原因) 防災無線や広報等を活用した啓発活動による相談窓口の存在が住民に広く周知できた結果だと考えられます。	件	35	55	70	



基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-05 消費者啓発・教育の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民 行政	町民に対する消費生活における啓発・教育を充実させます。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	クリーニングオフ制度を知っている町民の割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【商工観光課】 (状況) 前回調査と比較して、3.4ポイント低下しました。 (原因) 防災無線等を通して、周知活動を行っておりますが、 一部の方へ理解されていないことが考えられます。	%	-	-	76.1	

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	101

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-05-01 効果的・効率的な行政運営

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業 04-05-04 地域情報化の推進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

高度情報化の進展や地域防災意識の高まりなど、住民ニーズが多様化・複雑化する中、地方財政を取り巻く環境は、人口減少や景気の低迷等による地方税収の減少や合併特例措置に縮減に伴う地方交付税の減少などにより、一段と厳しい状況が見込まれています。

総合計画、行政評価及び予算編成が連動した、より計画的で効果的・効率的な財政運営が可能な仕組みづくりを構築していきます。

未利用地の売却や町税の適正な課税・徴収強化により収納率の向上に努め、自主財源の安定的な確保を図ります。

地方分権改革に伴い、身近な行政サービスについて地方自治体が担う役割がさらに高まってきています。また、行政のスリム化や行政改革への取組が求められ、平成17年度から平成28年度の間に192名の職員を削減しています。

社会経済状況の変化に対応した行政サービスの提供と簡素で効果的・効率的な組織づくりを進め、限られた行政資源の効果的・効率的な活用に取り組んでいきます。

IOT(インターネット・オブ・シングス)時代に対応した地域情報化を推進し、電子自治体に対応した行政サービスの展開、庁内の業務効率の向上等に取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.87 (2.94)	--- (---)	2.93 (2.96)	➔
重要度	3.63 (3.58)	--- (---)	3.61 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町の行財政</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>効率的で計画的な行財政運営がなされています。</p>
---------------------------	--

施策の成果状況と評価

<p>指標①</p>	<p>施策成果指標の目標値の達成割合</p> <p style="text-align: right;">【企画財政課】</p>	<p>単位</p> <p>%</p>	<p>基準値</p> <p>-</p>	<p>実績値 (H27)</p> <p>15.2</p>	<p>実績値 (H28)</p> <p>23.9</p>	<p>目標値 (H29)</p> <p>70</p>	<p>指標のうごき</p> <p>(向上)</p>
<p>評価</p>	<p>(状況) 対前年度指標値比較は8.7ポイント向上しましたが、目標値を達成できたのは46の施策の成果指標中11の施策の成果指標にとどまっています。 (原因) 第2次総合計画前期基本計画(H26-H29)の後半にさしかかり、目標値を達成できた施策の成果指標数が伸びています。</p>						<p>目標達成度</p> <p>(低)</p>

<p>指標②</p>	<p>町の行財政運営が効率的・効果的に行われていると思う町民の割合</p> <p style="text-align: right;">【企画財政課】</p>	<p>単位</p> <p>%</p>	<p>基準値</p> <p>76.4</p>	<p>実績値 (H27)</p> <p>-</p>	<p>実績値 (H28)</p> <p>81.2</p>	<p>目標値 (H29)</p> <p>82.8</p>	<p>指標のうごき</p> <p>(横ばい)</p>
<p>評価</p>	<p>(状況) 対前回調査指標値比較は横ばいですが、対基準値比較は向上しています。 (原因) 町民の行政全般に対する信頼度が向上したものと考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>(高)</p>

<p>指標③</p>	<p>実質公債費比率</p> <p style="text-align: right;">【企画財政課】</p>	<p>単位</p> <p>%</p>	<p>基準値</p> <p>12.1</p>	<p>実績値 (H27)</p> <p>7.5</p>	<p>実績値 (H28)</p> <p>6.3</p>	<p>目標値 (H29)</p> <p>7.1</p>	<p>指標のうごき</p> <p>(向上)</p>
<p>評価</p>	<p>(状況) 実質公債費比率は1.2ポイント低下しました。 (原因) 地方債償還金が、昨年度と比較して約1,860万円減少したこと、上水道事業など公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金金が約2,792万円減少したことが主な要因となっています。</p>						<p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

<p>指標④</p>	<p>将来負担比率</p> <p style="text-align: right;">【企画財政課】</p>	<p>単位</p> <p>%</p>	<p>基準値</p> <p>34.1</p>	<p>実績値 (H27)</p> <p>14</p>	<p>実績値 (H28)</p> <p>9.5</p>	<p>目標値 (H29)</p> <p>33.7</p>	<p>指標のうごき</p> <p>(向上)</p>
<p>評価</p>	<p>(状況) 将来負担額は減少するとともに、充当可能財源は増加したため、将来負担比率は4.5ポイント低下しました。 (原因) 充当可能基金残高の増加や職員数の減少に伴う退職手当負担見込額の減少が主な低下の要因となっています。</p>						<p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	5,853,944

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-01 効果的・効率的な行政運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
行政	効果的・効率的な行政運営を行い、住民サービスを向上させます。

基本事業の成果状況と評価

指標①	基本事業成果指標の目標値の達成割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	-	24.4	31.7	70	
評価	<p>(状況) 対前年度指標値比較は7.3ポイント向上しましたが、目標値を達成できたのは205の基本事業成果指標中65の基本事業成果指標にとどまっています。</p> <p>(原因) 第2次総合計画前期基本計画(H26-H29)の後半にさしかかり、目標値を達成できた基本事業の成果指標数が伸びていません。</p>	(%)				目標達成度 (低)	

指標②	行政改革実践件数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【総務課】	件	19	28	23	32	
評価	<p>(状況) 行政改革実践件数は減少しました。</p> <p>(原因) 平成28年度に第3次行政改革大綱が作成され、実行プラン数が47から37に集約されたためだと考えられます。</p>	(件)				目標達成度 (達成)	

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	20,349

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
行政	適正な職員数により効率的な行政組織の構築します。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	人口1,000人に対する職員数 【総務課】	人	16.5	16.1	16.1	17.5	(横ばい)
評価	(状況) 人口1,000人に対する職員数は、0.1人減少しました。 (原因) 昨年に引き続き、新規採用者の採用枠を退職者の5割程度に抑制し職員数の削減を進めています。今後とも、より効率的に事務事業を処理できる組織体制を検討しながら、定員管理の適正化を推進していきます。						目標達成度 (高)
②	町職員の応対ぶりや仕事ぶりに満足している町民の割合 【総務課】	%	73.8	-	79.7	75	(向上)
評価	(状況) 前回のアンケート結果より1.4ポイント向上でした。 (原因) アンケートでは「町職員の応対ぶりや仕事ぶりに対する満足度」で「満足」、「やや満足」、「普通」という回答が79.7%という結果でした。20代で「不満」、「やや不満」と回答された方の前回比がそれぞれ減少し、60代でも「不満」と回答された方も減少している状況です。一方で職員の応対や説明責任に関して、自分の申し出に対して思うようにならない、挨拶がない等の応対に関する苦情など、住民からの苦情が少なからずあることから、今後とも接遇研修等を通じて公務員としての自覚と職業意識の醸成に努め住民満足度を向上させます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町の自主財源 町民 町の財政	基本事業がめざす姿 自主財源の安定的な確保を図るとともに、中長期的な視点に立った健全な財政運営を行います。
---------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	一人あたりの地方債残高	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【企画財政課】	千円	873	954	978	946	(低下)
評価	(状況) 住民一人あたりの地方債残高は増加しました。 (原因) 新庁舎建設等の影響により、地方債残高は昨年度と比較し約8,117万円増加し、一方、人口については、前年度と比較して494人減少したため、結果、一人あたりの地方債残高は増加しました。						目標達成度 (中)
②	【企画財政課】	%	88.9	93.5	95.5	94	(向上)
評価	(状況) 町税の収納率は、2.0ポイント向上しました。 (原因) 納税相談の実施や滞納処分等を積極に実施（差し押さえ件数も増加）したことが、収納率向上の要因と考えられます。						目標達成度 (達成)
③	【企画財政課】	%	89.2	83.7	88.2	92.7	(低下)
評価	(状況) 経常収支比率は、4.5ポイント上昇しました。 (原因) 合併特例措置の縮減等に伴う地方交付税の減少が主な要因となっています。						目標達成度 (中)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	36,412

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-04 地域情報化の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民 行政 事業者	情報インフラを活用し、地域の情報化を推進するとともに、情報の管理を適切に行います。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	インターネットを活用している町民割合 【総務課】	%	-	-	78.2	80	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p>
評価	(状況) 前回町民アンケートより3.0ポイント向上しました。 (原因) 町が整備をしている光回線を利用したサービスのほか、スマートフォンなどの普及によるモバイル通信利用者の増加が大きく影響しています。	(%)					
指標②	セキュリティ事故件数 【総務課】	件	0	0	0	0	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p>
評価	(状況) 情報漏えい等のセキュリティ事故は0件となっています。 (原因) 情報セキュリティに関する職員研修(eラーニングなど)の実施や適宜セキュリティ対策情報の周知を行っています。また、自治体情報セキュリティ強化対策(インターネット分離・基幹系システム分離・愛媛県情報セキュリティクラウドへ移行)を実施し、セキュリティを強化しました。	(件)					
指標③	システムダウン件数 【総務課】	件	1	2	0	0	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p>
評価	(状況) システムダウン件数は0件となっています。 (原因) 各種システムサーバ及び関連機器の点検を強化し、機器及びシステム異常等のログの確認及び機器の点検を実施していることが安定稼働につながっていると考えられます。	(件)					

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	382,803

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	5,414,380

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

施策を実現する手段

基本事業 04-06-01 町有管理地の活用・管理

基本事業 04-06-02 公共施設数の適正化

基本事業 04-06-03 公共施設の維持管理

基本事業 04-06-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

過去に建設された公共施設が、これから大量に更新時期を迎えます。しかし、今後見込まれる人口の減少や高齢化等、そして厳しい財政事情から、公共施設の老朽状況や使用頻度などを考慮し、計画的・効率的な維持管理を行うとともに、用途の見直しや統廃合など施設の在り方を検討していく必要があります。

これに伴い、平成29年3月に愛南町公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の現況、将来の見通し及び計画的な管理に係る基本的な方針を立てました。今後は、当該計画を基により詳細な個別施設計画を策定し、公共施設の適正化と有効利用を図ります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	2.92 (2.94)	--- (---)	2.96 (2.96)	➔
重要度	3.42 (3.58)	--- (---)	3.40 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>公共施設及び土地</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>公共施設の老朽状況及び利用率並びに人口に見合うよう公共施設を適正化するとともに、その有効利用を図ります。</p>
------------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	町民一人当たりの公共施設維持管理費 【総務課】	円	-	-	-	-	---
評価	(状況) (原因)						目標達成度 ---
②	町民一人当たりの公共施設延床面積 【総務課】	m ²	10.0	10.4	10.9	10.9	<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>
評価	(状況) 町民一人当たりの公共施設延床面積は前年に比べ0.5m ² 増加しています。 (原因) 人口の減少により増加したものです。						目標達成度 (低)
③	耐用年数を超えている公共施設数 【総務課】	施設	32	27	51	23	<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>
評価	(状況) 当該公共施設数が増加しています。 (原因) 耐用年数が経過した施設が増加したものです。						目標達成度 (低)

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	287,169

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-01 町有管理地の活用・管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町有管理地	基本事業がめざす姿 効率的で適切な管理を行うとともに、有効活用を図ります。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	町有管理地の維持管理費 【総務課】	千円	417	731	275	200	(向上) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 町有管理地の維持管理費は前年に比べ大幅に減少しています。 (原因) 前年度に比べ修繕件数が減少したことによるものです。						
②	未利用地の面積 【総務課】	m ²	13,245	13,087	13,087	10,939	(横ばい) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 未利用地の面積は横ばいです。 (原因) 未利用地の面積は売却等がなかったことにより、前年に比べ増減していません。						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	1,919

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-02 公共施設数の適正化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町の公共施設	基本事業がめざす姿 人口や利用状況を踏まえて、公共施設総量の適正化と機能再編・統合を進めます。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	遊休施設保有数（閉・休・廃館等） 【総務課】	施設	19	11	11	10	(横ばい) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 遊休施設の保有数は横ばいです。 (原因) 遊休施設の保有数は前年に比べ、増減していません。						
②	公共施設の平均稼働率 【総務課】	%	-	-	-	-	---
評価	(状況) (原因)						---
③	適正化された公共施設数 【総務課】	施設	-	-	-	-	---
評価	(状況) (原因)						---

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	84,823

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-03 公共施設の維持管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町の公共施設	基本事業がめざす姿 適切な維持管理を行うことにより、安全で快適に利用できます。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	公共施設に係る修繕費	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	(状況) 公共施設に係る修繕費は前年に比べ増加となっています。 (原因) 防水修繕等、施設の老朽化による修繕費が増加したことによる ものです。	千円	63,364	61,397	69,137	65,000

【総務課】

年度	実績値 (千円)
H24	63,364
H25	55,000
H26	60,000
H27	61,397
H28	69,137
H29	65,000 (目標)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	196,107

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	4,320

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-01 学校教育の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業 05-01-02 心の教育の充実

基本事業 05-01-03 健やかな体の育成

基本事業 05-01-04 安心安全な学校づくり

基本事業 05-01-05 教職員の資質・能力の向上

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

子どもたちの主体的な学びの創造を支援するとともに、児童・生徒一人ひとりに応じた指導を徹底して、確かな学力の定着・向上と心身の健全育成に取り組めます。
 複式学級への支援や特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を充実させ、全ての子どもたちが学校生活によりよく適応できるよう総合的な施策を推進します。
 心身ともに健康な児童・生徒を育成するために、基本的な生活習慣・日常的な運動習慣の定着に努めていきます。
 子どもの健全育成のため、栄養バランスがとれた安心安全な給食の提供に努めます。また、時代の変化とともに増えてきたアレルギーのある子どもに対応した給食を充実させます。
 安心安全な学校づくりを推進するため、各教育施設を点検・整備し計画的な改修、改築等を行っていきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.09 (2.94)	--- (---)	3.10 (2.96)	➔
重要度	3.57 (3.58)	--- (---)	3.66 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
幼稚園・小中学校 園児・児童・生徒	心身ともに健康な子どもを育成し、教育環境を整備・充実し、安全・安心な学校生活を形成します。

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	楽しく学校生活を送っている児童（小学生）の割合 【学校教育課】	%	93.8	94.1	95.0	95	 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 「学校が楽しい」と思っている児童は、前年度よりやや増加しました。ただ、そう思っていない児童が5%います。各学校では、教育相談等を通して実態を把握するとともに、児童の支援を続けています。 (原因) 楽しいと思っていない児童には、友達関係、勉強、家族のこと等、様々な理由で学校生活に満足していないことが考えられます。また、その時の気分で答えている児童もいます。						
指標②	児童が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合 【学校教育課】	%	94.3	95.5	93.7	95	 (横ばい) 目標達成度 (高)
評価	(状況) ほとんどの保護者が「児童が学校生活を楽しんでいる」と思っています。ただ、児童の学校生活に不安を抱いている保護者に対する対応や支援も必要です。 (原因) 児童相互の人間関係、学級担任と保護者、学校と保護者の関係が良好であるといえます。						
指標③	楽しく学校生活を送っている生徒（中学生）の割合 【学校教育課】	%	92.4	92.5	94.4	95	 (向上) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 前年度より数値が上がっている。内訳も、「十分あてはまる」を選択した生徒が、「あてはまる」を選択した生徒の2倍となっています。 (原因) 日々の学校生活が充実していること、友達や教師との人間関係が良好であることなどが原因だといえます。						
指標④	生徒が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合 【学校教育課】	%	90.1	93.6	94.4	95	 (向上) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 「生徒が学校生活を楽しいと思っている」と感じている保護者が前年度より増加しています。 (原因) 生徒の言動、学校からの情報発信等により、安心感・信頼感が生まれていると考えられます。						

施策のコスト（千円）

H27	H28
0	762,365

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
小中学校	自ら学び考える力を育成し、基礎・基本を定着させることにより確かな学力の向上を図ります。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	授業が分かるという児童の割合 【学校教育課】	%	92.6	93.3	94.7	95	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>
評価	<p>(状況) 前年度より肯定割合が増えています。「十分あてはまる」が「あてはまる」の2倍となっています。前年度90%を下回っていた学年が、今年度も同様に下回っています。</p> <p>(原因) 県の学力向上5か年計画に沿って、授業改善を行っていることが、数値の向上につながっていると考えられます。</p>						
指標②	授業が分かるという生徒の割合 【学校教育課】	%	88.6	86.6	88.3	90	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>
評価	<p>(状況) 第1学年が90%を超えているため、全体の肯定割合が前年度より高くなっています。「十分あてはまる(29%)」より、「あてはまる(40%)」の生徒の割合が高く、「あてはまらない」の生徒は、前年度の3分の1に減りました。</p> <p>(原因) 各学校において、生徒一人一人の実態に応じた指導を実践しています。</p>						
指標③	学習習慣ができている児童の割合 【学校教育課】	%	91.7	89	90.1	90	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p>
評価	<p>(状況) ほとんどの学年が90%以上の児童が肯定的な回答をしています。1つの学年のみ肯定割合が76.6%となっています。</p> <p>(原因) 前年度低かった学年が、今年度も低く、家庭との連携が図りにくい現状があるのではないかと考えられます。</p>						
指標④	学習習慣ができている生徒の割合 【学校教育課】	%	69.5	75.6	81.9	90	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p>
評価	<p>(状況) 全ての学年において、前年度より肯定割合が増えています。目標値に達するためには、さらなる指導改善が必要です。</p> <p>(原因) 授業と連動した家庭学習や、予習・復習を含めた自主学習の指導が充実してきたと考えられます。</p>						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	186,261

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-02 心の教育の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
幼稚園・小中学校	いじめ・不登校の根絶に努め、家庭や地域と連携した生徒指導の充実を図ります。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	いじめの認知件数	件	1	10	3	0	(向上)
評価	(状況) 小学校は2件、中学校は1件でありました。 (原因) 各学校が、いじめ防止基本方針に基づき、いじめの早期発見・早期解決に努めています。						目標達成度 (達成)
指標②	不登校の児童・生徒数	人	3	2	2	5	(横ばい)
評価	(状況) 小学校に30日以上欠席した児童が2名いました。 (原因) 欠席日数が増える要因はさまざまであり、原因を特定することは難しいです。保護者や関係機関と連携しながら再登校を促す必要があります。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	3,579

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-03 健やかな体の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園・小中学校	基本事業がめざす姿 健康的な生活習慣の形成を図り、運動を通じて体力を養います。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	愛媛県体力標準値で県平均を上回っている項目数 (小5・中2)	項目	12	24	14	20	(低下) 目標達成度 (中)
	【学校教育課】						
評価	(状況) 前年度と比較して、県平均を上回っている項目数が減っています。小学生、中学生ともに、握力、立ち幅跳びが、県平均を下回っています。上体起こし、長座体前屈も弱いです。 (原因) 目標の持たせ方、意欲の持たせ方、実施までの主体的な練習のさせ方等において、工夫が足りません。						
指標②	小児生活習慣病検査の精検者における受診率 (小4・中1)	%	41	65.6	64.5	70	(横ばい) 目標達成度 (高)
	【学校教育課】						
評価	(状況) 被勧告者は、前年度より減っていますが、受診率は前年度とほぼ同じです。 (原因) 学校は、保護者に受診を勧めています。経過観察の児童生徒については、保護者が受診の必要性を感じていないと考えられます。						
指標③	日常で十分運動している児童・生徒の割合	%	-	79.6	76.1	80	(低下) 目標達成度 (中)
	【学校教育課】						
評価	(状況) 小学5年は、男子が75.4%、女子が69.7%、中学2年男子は、94.6%、女子が64.6%が十分に運動をしています。 (原因) 中学生女子は、運動部に所属していない生徒が男子より多いため、運動量が少ないと考えられます。						
指標④	基本的な生活習慣ができている児童・生徒の割合 (早寝早起き、朝ごはんを食べている、あいさつなど)	%	85.1	86.1	86.1	90	(横ばい) 目標達成度 (中)
	【学校教育課】						
評価	(状況) 全体としての数値は前年度と同じですが、「あてはまらない」と回答した児童生徒の割合が減っています。 (原因) 各学校での基本的な生活習慣に対する指導や、家庭への啓発が継続されています。						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	142,450

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-04 安心安全な学校づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園・小中学校	基本事業がめざす姿 子どもが安心安全な環境で学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備・充実に努めます。
---------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	施設維持管理上の不具合件数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【学校教育課】	件	151	149	129	150	(向上)
評価	(状況) 施設の老朽化が進んでおり、特に設備関係の劣化による不具合の発生が目立ってきています。設備関係は初期段階で対応し改善しないと学校の教育活動への影響が出るため特に注意が必要です。 (原因) 町内の学校施設は、大規模改造や新築を行った時期が集中していて、その後40年ほど経過した施設が多数あることから、老朽化による不具合の発生が多い原因と考えられます。						目標達成度 (達成)
指標	登下校の事故・トラブル件数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【学校教育課】	件	9	7	7	0	(横ばい)
評価	(状況) 登下校時の事故は、けがも含め小学生が1件、中学生が6件でした。不審者等の被害を受けた児童生徒はありませんが、引き続き注意が必要です。 (原因) 不審者の被害がないのは、学校で防犯訓練をしていることや発見者が素早く通報し、警察やスクールガードリーダーと連携することができていることが原因だと考えられます。						目標達成度 (中)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	187,147

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-05 教職員の資質・能力の向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 教職員	基本事業がめざす姿 教職員の資質・能力の向上を図ります。
----------------	---------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	研修や自己研鑽を行っている教職員の割合	%	95.1	99	98.6	100	(横ばい)
評価	(状況) 小学校教職員は97.8%、中学校は100%が肯定しています。自己研鑽や研修の機会は確保されています。 (原因) 自己研鑽や研修が十分でないと考えている教職員が数名いますが、回数や内容が十分ではないと捉えていることが考えられます。						目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	0

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	242,928

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-02 生涯学習の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実

基本事業 05-02-02 生涯学習情報の提供

基本事業 05-02-03 青少年の健全育成

基本事業 05-02-04 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実

基本事業 05-02-05 文化活動の活性化及び地域文化の保護・継承

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子高齢化や高度情報化、価値観の多様化により、生涯学習に対する住民ニーズも大きく多様化しています。これに合わせ、町民が求める学習活動の把握に努め、生涯学習メニューの検討が必要であり、地域活性化への貢献、青少年の健全育成及び地域に根ざした公民館活動の充実に加え、防災教育との連携など新たな生涯学習メニューの拡充について検討します。また、老朽化した施設の長寿命化を推進し、さらに図書館や資料館など新たな生涯学習施設の整備について検討します。

人口の減少と少子高齢化によって、文化団体の活動や伝統行事の運営などが難しい状況にあります。地域文化の次世代への継承を考慮しつつ、住民ニーズの多様化に則した文化事業の充実に取り組んでいきます。

平成28年度より考古学の専門知識と発掘技能を有する職員を雇用し、文化財等に関する調査に取り組み始めています。文化財等の適切な保存・活用のため、発掘調査等を積極的に進めるとともに、講座・企画展などの実施により文化財保護の普及・啓発に努めます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.05 (2.94)	--- (---)	3.06 (2.96)	➔
重要度	3.35 (3.58)	--- (---)	3.46 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	多様な学習機会や情報を提供し、その成果を活かせる活動の場づくりを進める事により、生涯学習に取り組む町民が増加します。

施策の成果状況と評価

指標 ①	生涯学習に取り組んでいる町民の割合 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき															
			%	11.1	-	12.3	30	(横ばい)														
評価	<p>(状況) 前回に比べ、2.3ポイント低下しています。 (原因) 習い事や趣味の活動を行っている30~40代の割合が低いという結果が出ています。働き盛り世代であり、時間に余裕がないといった理由が考えられます。 前年に比べると公民館等での事業数、実施回数は増加し、学習活動参加者も増えているものの参加者層の固定化、学習活動を行う時間帯が働く世代の希望に合わない時もあるなどの理由で利用者層や利用状況に偏りが出ているのではないかと考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>生涯学習参加者割合の推移と目標</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>11.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>14.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>12.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H24	11.1	-	H26	14.4	-	H28	12.3	-	H29	-	30	目標達成度 (低)
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																				
H24	11.1	-																				
H26	14.4	-																				
H28	12.3	-																				
H29	-	30																				

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	404,918

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実

基本事業のプロフィール

<table border="1"> <tr> <th>基本事業の対象</th> </tr> <tr> <td>町民</td> </tr> </table>	基本事業の対象	町民	<table border="1"> <tr> <th>基本事業がめざす姿</th> </tr> <tr> <td>住民のニーズに応じた様々な生涯学習を提供し、多くの町民が各種講座などに参加し、その質や機会が充実していると思う町民が増加します。</td> </tr> </table>	基本事業がめざす姿	住民のニーズに応じた様々な生涯学習を提供し、多くの町民が各種講座などに参加し、その質や機会が充実していると思う町民が増加します。
基本事業の対象					
町民					
基本事業がめざす姿					
住民のニーズに応じた様々な生涯学習を提供し、多くの町民が各種講座などに参加し、その質や機会が充実していると思う町民が増加します。					

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	町主催の生涯学習に参加した町民の延べ参加者数 【生涯学習課】	人	14,465	19,316	20,997	20,000	(向上)
評価	<p>(状況) 前年に比べ、参加者が1,681名増加しています。 (原因) 公民館事業において、新たに9事業増え、実施回数も増加しました。特に体験活動事業の実施回数が増え、それに伴い事業参加者数が増加したと考えられます。</p>						<p>☀ (向上)</p> <p>■ 目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
②	生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合 【生涯学習課】	%	77.5	-	83.1	90	(低)
評価	<p>(状況) 前回に比べ、2.3ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲と思われます。 (原因) 50~60代の世代で「不満」と回答した方の割合が高い結果が出ています。事業数や実施回数を増やし、学習機会の提供に努めていますが、関心のあるテーマの学習活動が実施されていないと感じる方がいらっしゃるのではないかと思います。</p>						<p>比較不可</p> <p>■ 目標達成度</p> <p>■ (低)</p>

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	19,464

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-02 生涯学習情報の提供

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>生涯学習に関する情報を十分に収集できていると思う町民が増加します。</p>
--------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	生涯学習に関する情報提供の量や内容に満足している町民の割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	<p>【生涯学習課】</p> <p>(状況) 前回に比べ、4.6ポイント増加しています。 (原因) 生涯学習活動については、地区回覧やホームページ、公民館だよりを活用し、各世帯へお知らせしています。また、事業数を増やすなどの取組も行っている成果ではないかと思われます。</p>	%	74.1	-	81.4	90

年度	実績値	目標値
H24	74.1	-
H26	74.1	-
H28	81.4	-
H29	-	90.0

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	0

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-03 青少年の健全育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 小中学生	基本事業がめざす姿 青少年が健全に育成されるように支援します。
-----------------	------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	地域の子どもの育成活動や学校教育への支援に積極的に関わっている町民の割合	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【生涯学習課】	%	15.8	-	10.5	30	
評価	(状況) 前回に比べ、2.8ポイント低下しています。 (原因) 子育て世代は、PTAなどで学校との関わりが増え、子どもたちを支援する機会も増加していますが、子育てが終わるとともに育成支援への関わりが減少する傾向にあり、数値が伸び悩んでいます。						目標 (低下) 目標達成度 (低)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	3,848

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-04 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民 生涯学習施設	基本事業がめざす姿 生涯学習施設を整備し、多くの町民が利用します。
-------------------------	--------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	生涯学習活動を行なう施設が充足していると思う町民の割合 【生涯学習課】	%	88.8	-	87.4	90	(横ばい) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 前回に比べ数値の大きな変化はありません。 (原因) 生涯学習への参加者が増えたのに伴い、施設や数についてもある程度満足されているように思われます。						

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	生涯学習施設の維持管理上のトラブル件数 【生涯学習課】	件	0	4	0	0	(向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 町内の生涯学習施設全体で、維持管理上による住民とのトラブルはありませんでした。 (原因) 生涯学習施設の適切な維持管理がなされているためだと考えられます。						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	122,179

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-05 文化活動の活性化及び地域文化の保護・継承

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民 行政	文化活動及び地域文化の保護・継承を推進することにより、町民の文化意識が向上します。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	文化活動への参加者数（芸術・文化・歴史）	人	82,421	82,967	78,994	90,000	指標のうごき
評価	<p>【生涯学習課】</p> <p>(状況) 前年度に比べて3,973人の低下しました。 (原因) 高齢化に伴う文化協会の団体や会員の減少に加え、御荘文化センター舞台吊物の改修工事や空調設備の不具合等によって、ホールなど施設の使用が制限されたことによるものと考えられます。</p>					<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p>	
指標②	文化事業・芸術鑑賞への機会が十分だと思う町民の割合	%	70.4	-	76.5	77	指標のうごき
評価	<p>【生涯学習課】</p> <p>(状況) H26年度から3.6ポイント向上しています。 (原因) ミュージカル公演やジャズ公演など、住民ニーズに応じた文化・芸術公演が増えたことによるものと考えられます。</p>					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	
指標③	伝統行事保存団体数	団体	15	14	14	15	指標のうごき
評価	<p>【生涯学習課】</p> <p>(状況) 前年度の数値と変化はありません。少子高齢化の進展により、どの保存会も伝統行事の保存継承に苦勞しています。 (原因) 県指定文化財の保存団体への助成、CATVの放映などによる広報啓発を実施していますが、現状の数値を維持するにとどまっています。</p>					<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (低)</p>	
指標④	文化財の指定及び登録件数	件	111	111	111	120	指標のうごき
評価	<p>【生涯学習課】</p> <p>(状況) 前年度の数値と変化はありません。 (原因) 指定候補物件の調査が不足しています。文化財保護の重要性について啓発を進め、学識と知見を有する専門家による候補物件の抽出並びに調査指導が必要です。</p>					<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (低)</p>	

基本事業のコスト（千円）

	H27	H28
	0	16,515

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	242,912

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-03 スポーツの充実

施策を実現する手段

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設・設備の整備

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子化及びスポーツ習慣の低下によりスポーツ少年団への加入率が減少している中で、町内の小学生の運動能力は、県の平均を下回っており、スポーツ習慣を高める取組が求められています。またスポーツをする町民割合が増加している一方で、若者の流出によるチームスポーツの減少や、町主催の大会・教室等への参加者が減少しています。

まずは小学生レベルの運動能力の向上を図ることが喫緊の課題となるため、長期的な視野に立った継続的な運動能力向上プランを策定していく必要があります。また、少子化の進展などにより、今後はチームスポーツの編成が困難となることが予測されます。このため、新たな個人スポーツの導入など、スポーツ環境の整備が必要です。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.10 (2.94)	--- (---)	3.12 (2.96)	➔
重要度	3.26 (3.58)	--- (---)	3.38 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>町民ニーズにあったスポーツや運動を通じて、健康増進を図ります。</p>
------------------------	---

施策の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	スポーツ活動に親しむ町民の割合 【生涯学習課】	%	27.3	-	29.6	27	比較不可
	<p>(状況) 基準値を上回っていますが、前回の集計より0.5ポイントほど下がっている状況です。</p> <p>(原因) 年齢を重ねるにつれてスポーツ活動を行っていない人の割合が増加していることが要因と考えられます。しかしながら週3回以上運動している方は70代以上が最も多いという結果がでているため、若年層への啓発強化により、数値が向上する可能性があります。</p>						<p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
②	各種スポーツ団体・クラブに加入している町民の割合 【生涯学習課】	%	15.9	-	13.4	16	(横ばい)
	<p>(状況) 基準値を下回っており、前回よりも0.7ポイント下がっている状況です。</p> <p>(原因) 若年層の人口減少に伴い、チームスポーツの維持が難しくなっていること、また昨今のロードバイクやマラソンといった個人的に行える種目のニーズの増加が要因ではないかと考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	146,894

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
行政 町民	各種スポーツ団体の充実及び指導者の育成により、地域でスポーツ活動をする人が増加します。

基本事業の成果状況と評価

指標	各種スポーツ指導者数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【生涯学習課】	人	32	16	23	30	
評価	(状況) 向上しています。 (原因) バレーボール、水泳、相撲及びフィットネス系の資格取得がありました。						
指標	各種スポーツ団体で優秀な成績を取めた者及びスポーツの発展に寄与した者の顕彰者数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【生涯学習課】	人(団体)	14(3)	15(5)	11(6)	14 (3)	
評価	(状況) 横ばいの状況です。 (原因) 前年度に引き続き、中学・高校生の活躍がありました。特に剣道、相撲、陸上及び水泳競技において好成績を取めました。						
指標	スポーツ少年団の加入率	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
③	【生涯学習課】	%	57.2	59	59	55	
評価	(状況) 横ばいの状況です。 (原因) 横ばいだったのは一過性にすぎないと考えられます。今後は、生徒数の減少により加入率も低下していくことが予想されます。団内の仲良く、楽しい雰囲気づくりを行い、団員の途中退団を減少させることで、目標値を維持できるのではないかと考えます。						

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	6,260

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
行政 町民	各種スポーツ活動への参加機会が充実します。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	町主催のスポーツ大会・教室等に参加した延べ人数 【生涯学習課】	人	1,932	1,678	775	2,000	
評価	(状況) 低下しました。 (原因) 悪天候により大会の中止が相次ぎ、参加者数の大幅な減少が生じました。今後は、人口の減少により大会等への参加者数の減少が予想されますが、参加者のニーズに沿った大会運営に心がけ、参加意欲を向上させることにより、目標値を達成できる余地があるのではないかと考えます。						<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>
指標②	スポーツ活動への参加機会が十分であると思う町民の割合 【生涯学習課】	%	76.9	-	87.9	77	
評価	(状況) 基準値を上回り、前回より2.5ポイント増加している状況です。 (原因) 各競技団体等が大会を企画、運営するなど取り組んでいる成果であると考えられます。ただし男女共通して満足度は普通という意見が大半を占めているため、マンネリ化を防ぐ持続的な取り組みが重要であると考えられます。						<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>👑 (達成)</p>

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	24,957

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設・設備の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民 行政	スポーツ施設・設備を充実させ、多くの町民が利用します。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	スポーツ施設利用者数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【生涯学習課】 (状況) 前年度より大幅に増加しています。 (原因) あけぼのグラウンドの改修が完了し、一般団体の利用が再開された結果であると考えられます。	人	148,072	149,500	160,771	

指標 ②	スポーツ施設の不具合・トラブル件数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【生涯学習課】 (状況) 不具合やトラブルがなく、良い状況として横ばいを維持しています。 (原因) 公民館等と連携して施設の巡回を行い状況を把握することで、早期に対応するなど現状を維持するための取り組みを行ったからだと考えられます。	件	0	0	0	

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	0

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 スポーツツーリスト 町民 行政	基本事業がめざす姿 スポーツツーリズム推進基本方針（観光庁）に基づき「見る」、「する」、「支える」などのスポーツを通じた観光のまちづくりを推進します。
----------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	スポーツツーリズムによる観光客数 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		人	-	4,800	4,541	5,000	
評価	(状況) 来場者数が5.4%の減少となり、順調とは言えない状況です。 (原因) スポーツ合宿の来場者は前年から272名の増加となりましたが、トライアスロン大会が悪天候だったため、来場者が500名減少したことが原因です。						(低下) 目標達成度 (中)

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	0

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	115,677

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策を実現する手段

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業 05-04-03 社会的弱者の人権の保護

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子・高齢化に伴い、介護を要する高齢者の増加、老老介護、家族の負担増など、虐待の要因が増加傾向にあります。また、子どもの貧困率の増加、インターネットやSNS等によるいじめの問題が大きな社会問題となっています。いじめ防止は勿論ですが、障がい者差別解消法や部落差別解消法が施行されるなど、あらゆる人権課題の解決に向けた新しい取り組みが進められています。

しかし、依然として同和問題をはじめ、女性や子ども、高齢者・障がい者等への人権侵害が多く発生しています。基本的人権尊重の理念が、私たち一人ひとりの生活の中にしっかりと根付き、家庭や地域社会、職場などのあらゆる場に浸透し、差別や偏見を許さない社会の実現のため、啓発活動の充実が必要であります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H26	H27	H28	うごき
満足度	3.04 (2.94)	--- (---)	3.04 (2.96)	→
重要度	3.31 (3.58)	--- (---)	3.38 (3.65)	→

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、学校、企業及び団体	基本的人権尊重の理念が、私たち一人ひとりの生活の中にしっかりと根付き、家庭や学校、地域社会、職場などのあらゆる場に浸透し、差別や偏見を許さない社会が確立します。

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	この1年間に、自身の人権が侵害されたと感じたことがある町民の割合 【人権啓発室】	%	9.5	-	12.1	9	(横ばい)
評価	(状況) 2年前に比べて0.4ポイント微増したが、横ばい状態といえます。 (原因) 差別はしてはいけないと分かっているにもかかわらず、何気ない会話の中で発せられた言葉を侵害に当たると捉えた方がおられたこと、また、発った方がおられたことが原因と考えられます。						目標達成度 (中)
②	出身、性別、国籍、年齢、病気、障害の有無等の人権に係わる差別をしてはならないと考える町民の割合 【人権啓発室】	%	96.5	-	97.7	100	(横ばい)
評価	(状況) 2年前に比べて0.3ポイント微減したが、横ばい状態といえます。 (原因) アンケート結果、「はい」の値が、性別、年齢層とも高いことが伺えます。学校での人権教育や人権啓発活動が続けていることが成果に結びついていると考えられます。						目標達成度 (高)

施策のコスト (千円)

H27	H28
0	14,341

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、企業及び団体	基本事業がめざす姿 あらゆる差別や偏見を解消する人権尊重意識の高揚を図ります。 お互いに相手の立場を認め合える豊かな感性を持った児童・生徒を育てます。
----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	学習等により、この1年間に自身の人権意識が高まったと思う町民の割合 【人権啓発室】	%	35.3	-	34.8	45	
評価	(状況) 2年前に比べ2.3ポイントの減少であるが、横ばい状態といえます。 (原因) アンケート結果、「はい」の値が、性別、年齢層とも高いことが伺えます。学校教育や人権啓発活動が続けていることが成果に結びついていると考えられます。						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)
指標②	相手の気持ちを理解し、やさしい言葉遣いや行動ができる児童・生徒の割合 【人権啓発室】	%	73.2	79.5	79.5	100	
評価	(状況) 前年対比で横ばい状態で変化はありませんが、概ねやさしい児童・生徒が育っていることがうかがえる。 (原因) 各学校での熱心な道徳や人権教育の取り組みによる成果が表れていると考えられます。						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	4,822

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	男女がお互いを尊重しつつ、責任を分かち合い、能力を十分に発揮できる社会を実現します。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	男女の地位は平等になっていると思う町民の割合 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき																					
		%	26.5	-	25.1	30																						
評価	<p>(状況) 平成26年度と比べて、2.3ポイントと微増していますが、横ばい状態といえます。</p> <p>(原因) アンケート結果から、「男性優遇」が性別、年齢層からみても高いことが伺えます。「平等である」と答えた割合が向上している年齢層もあるので、地域内や職場内等の環境は、改善されている部分もあると考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>男女の地位は平等になっていると思う町民の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>26.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>22.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>25.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>30.0</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H24	26.5	-	H26	22.2	-	H28	25.1	-	H30	30.0	30.0	H32	-	30.0	H34	-	30.0	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
		年度	実績値 (%)	目標値 (%)																								
H24	26.5	-																										
H26	22.2	-																										
H28	25.1	-																										
H30	30.0	30.0																										
H32	-	30.0																										
H34	-	30.0																										

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	8

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-03 社会的弱者の人権の保護

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 18歳未満の子供及び65歳以上の高齢者	基本事業がめざす姿 子どもや高齢者が、人権が侵害されることなく安心して生活することができます。
--------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	要保護児童等の支援による解決率	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【人権啓発室】	%	50	31.3	50.0	40	(向上)
評価	(状況) 前回と比較して18.7ポイント向上しており、目標を達成しました。 (原因) 古くから解決できていないケースは依然残っていますが、定期的に児童の見守りや実態把握を行い、比較的落ち着いた状況の児童を母子保健へつなぐことができました。最終的な解決には至っていませんが、児童の養育に不安のある家庭への支援ができたのではないかと考えられます。						目標達成度 (達成)
指標	高齢者の人権が侵害された件数	単位	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【高齢者支援課】	件	7	14	8	7	(向上)
評価	(状況) 前年度に比べて6件減少しています。 (原因) 高齢者を取り巻く関係機関(ケアマネージャーやサービス事業所等)警察、医療機関、地域住民等への相談窓口の周知が図れ、侵害と捉えられる前に初期対応ができたため減少したと考えられます。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H27	H28
0	1,714

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H27	H28
0	7,797